

資料目次

資料 1	「学則（案）」－抜すいー
資料 2	養成する人材像・3つのポリシー
資料 3	養成する人材像と3つのポリシーとの関係性
資料 4	教育課程の概念図
資料 5	カリキュラムマップ、カリキュラムツリー
資料 6	時間割（春学期入学者と秋学期入学者用の時間割）
資料 7	履修モデル
資料 8	3年次編入学生の単位認定について・3年次編入学 単位認定表
資料 9	2023 年度企業実習受入先一覧
資料 1 0	留学プログラム一覧
資料 1 1	基幹教員の年齢構成・学位保有状況
資料 1 2	学校法人関西外国語大学 職員就業規則（抜粋）
資料 1 3	学校法人関西外国語大学 再採用教員内規（抜粋）
資料 1 4	本学科関連所蔵図書資料
資料 1 5	管理運営機構図
資料 1 6	法人・大学事務組織機構図
資料 1 7	学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図
資料 1 8	学校法人関西外国語大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程
資料 1 9	学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会規程

関 西 外 国 語 大 学 学 則 (案) 【抜すい】

第 2 章 学部、学科等

(略)

(教育上の目的等)

第 15 条 各学部、学科等の人材養成目的等は次の各項のとおり定める。

(略)

3 英語国際学部

本学部は、英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力を備え、グローバル社会のありよう、世界の文化・社会に関する深い知識と教養を学修し、世界が抱える多様な課題を理解するとともにその解決に積極的に寄与し、世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的とする。

(1) 英語国際学科

本学科は、英語、中国語、海外留学等における学修をもとに、国際的なコミュニケーション能力や異文化理解力を育成し、加えて、グローバル社会のあり様、人間の叡智や文化の多様性に関する幅広い教養を基盤とし、総合的・分野横断的な思考力、情報デジタル社会に対応できる力、課題発見・課題解決力などを発揮しながら、力強く未来を構想し新たな価値を生み出せる人材、世界の持続的発展に貢献できる未来創造型のグローバル人材の育成を目的とする。

(2) アジア共創学科

本学科は、英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的とする。

(以下略)

英語国際学部 アジア共創学科 養成する人材像・3つのポリシー

建学の理念	「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学」の教授研究を通して、「国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材」を育成します。
大学の教育理念・方針	・ 言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実践的な言語教育を行います。 ・ 他国の言語・文化を修得・理解するレベルにとどまらず、日本語・日本文化の礎を踏まえ、自らの考えを自由に発信できるより高度で創造的なレベルでの言語運用能力の修得をめざします。 ・ 言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な「国際学」「外国学」に関する国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。
学部・学科の教育研究上の目的 (人材養成の目的)	【英語国際学部】 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力を備え、グローバル社会のありよう、世界の文化・社会に関する深い知識と教養を学修し、世界が抱える多様な課題を理解するとともにその解決に積極的に寄与し、世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を教育研究上の目的とし、以下に掲げる人材の養成をめざすものとする。 (1) 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力のもと、文化の枠を超えて柔軟に対応し、多様な人々と円滑なコミュニケーションができる人材 (2) グローバル社会のありようについて、政治・経済・文化・社会などの観点から広く学修するとともに、世界が抱える多様な課題を探究し、総合的な思考力や分析力を発揮しながらその解決に取り組み、世界の平和と持続的発展に貢献できる人材 (アジア共創学科) 英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を教育研究上の目的とし、以下に掲げる人材の養成をめざすものとする。 (1) 英語をはじめアジア言語の実践的な運用能力、および文化の枠を超えて、柔軟に対応できる国際感覚を備えた人材 (2) 現在のグローバル・アジアのありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会・歴史・価値観等に関する深い知識・理解と教養を有し、それらをもとにアジアの相互理解、協働と連帯、共生を実現できる共創力を備えた人材 (3) アジアの多様性を尊重しつつ共創力をもとに、新しい価値を創出しながらグローバル・アジアの社会課題の解決に寄与し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に貢献できる人材
卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	本学科では、英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的として、学生が卒業時に身につけるべき能力や知識を以下のように定めています。卒業要件を満たせば、これを身につけたものと認め、「学士(アジア共創)」の学位を授与します。 (1) 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力にもとづき、円滑なコミュニケーションを行うことができる。《知識・理解、コミュニケーション力》 (2) 現代のグローバル社会のありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会に関する深い知識と教養をもとに、アジアの相互理解、協働と連帯、共生することができる。《知識・理解、態度・志向性》 (3) グローバル・アジアの社会課題を理解するとともに深く考察し、総合的な思考力、分析力・構想力を発揮して課題解決に向けて行動することができる。《知識・理解、思考力、創造力、課題解決力》 (4) 多様性を尊重しつつ人種・文化・価値観等を異にする人々と協働し、共創によって新たな価値を生み出すために主体的に行動することができる。《態度・志向性、共創力》

英語国際学部 アジア共創学科 養成する人材像・3つのポリシー

教育課程の編成・実施の方針
(カリキュラム・ポリシー)

〔教育課程の編成にかかる基本方針〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力などを修得できるよう、教育課程を専門教育科目と全学共通教育科目に区分し、基礎から発展、完成へと卒業まで順次的・体系的に編成し、学修・教育、評価を行います。

1. 教育内容について

- (1) 専門教育科目では、6つのカテゴリー(「言語コミュニケーション科目群」「地域・文化科目群」「グローバル社会科目群」「サステナビリティ科目群」「アジア共創科目群」「日本語教員養成科目群」)において、英語およびアジア言語の運用能力の伸長、ならびにアジアの文化・社会を広く学び、アジアの協調と共生に貢献できる力、グローバル社会の現状を理解し、持続的発展を探究する力などの獲得をめざします。
- (2) 全学共通教育科目では、グローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的として数多くの外国語科目を配置するほか、学問分野を超えて横断的・学際的に教養を深め、広い視野で物事を判断できる力の獲得をめざします。

2. 教育方法について

- (1) 専門教育科目(「言語コミュニケーション科目群」)では、学修コーディネーション・コミティの下、Content-Based Instruction(内容重視の教授法)を用いた言語学修を行います。
- (2) 専門教育科目(「言語コミュニケーション科目群」)では、外部試験による客観的な指標により少人数クラス編成を行い、各自のレベルに応じた言語学修を行います。
- (3) 主体的に学ぶ力を高めるために、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブラーニング型授業を展開します。
- (4) 多様性にもとづいた共創力を修得するために、アジアからの国際学生と国内学生の協働によるフィールド型、プロジェクト型の学びを重視し、課題解決スタイルを実践的に学べる授業を展開します。
- (5) 幅広い知識と柔軟な国際感覚を実践的に修得するため、本学独自の多彩なプログラムによる海外協定先大学への留学を促します。

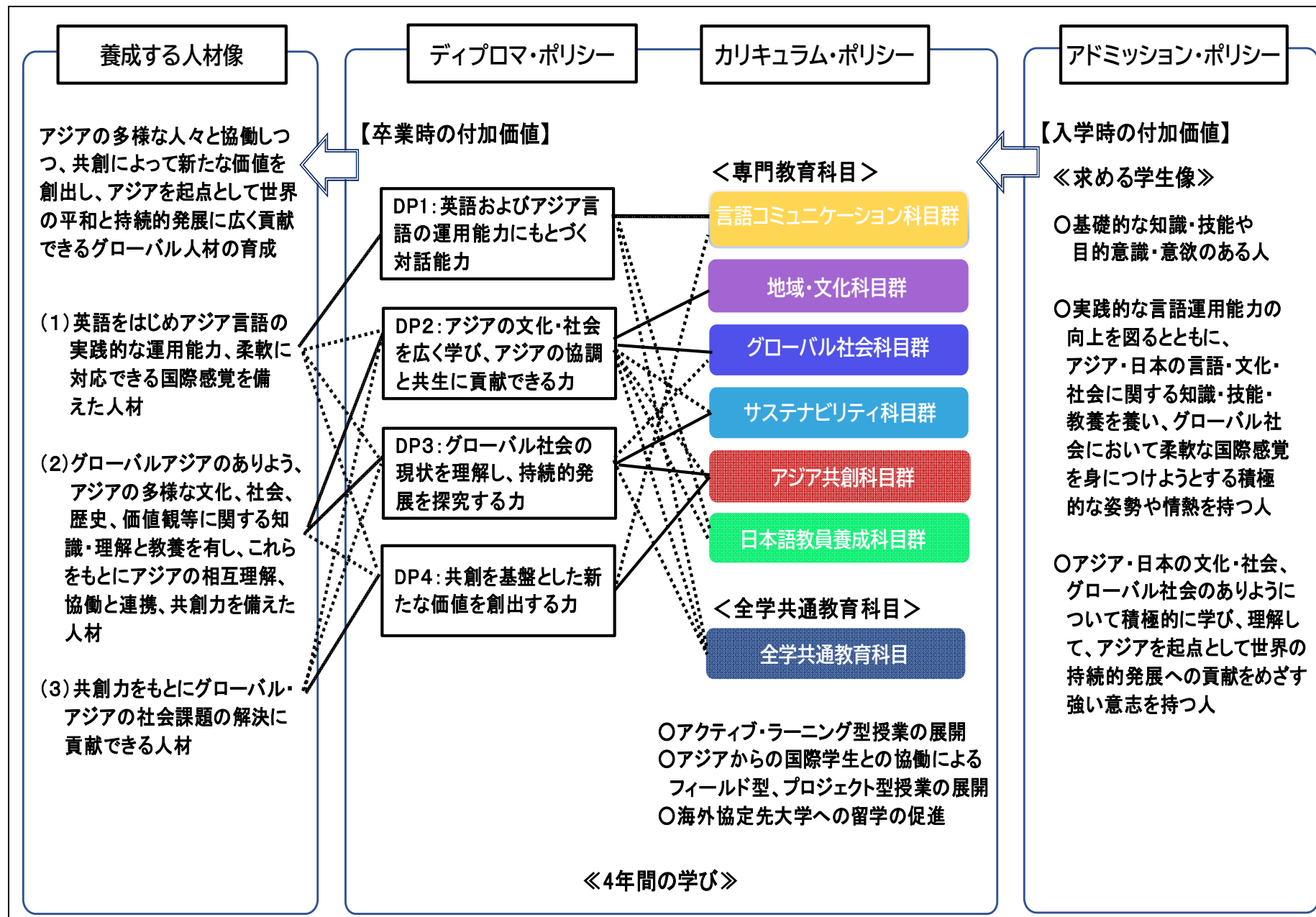
3. 学修成果の評価について

- (1) 学修成果の評価は、単位修得の確認などにより行います。
- (2) 単位修得科目、留学、就業体験、異文化理解などのためのボランティアの体験、外部試験の成績、およびクラスアドバイザーによる面談記録などの学修ポートフォリオにもとづき、4年間の学修成果をディプロマ・ポリシーに照らして総合的に評価します。
- (3) 英語力については、TOEFLなどの英語外部試験の客観的な指標を設け、学修成果を検証します。

英語国際学部 アジア共創学科 養成する人材像・3つのポリシー

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	本学科の教育研究上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のとおり定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。 1. 求める人材像について 高等学校までの学習・活動を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」(アジアからの国際学生においては「日本語」)の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、 (1) 基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人 (2) 実践的な言語運用能力の向上を図るとともに、アジア・日本の言語・文化・社会に関する知識・技能・教養を養い、グローバル社会において柔軟な国際感覚を身につけようとする積極的な姿勢や情熱を持つ人 (3) アジア・日本の文化・社会、グローバル社会のありようについて積極的に学び、理解して、アジアを起点として世界の持続的発展への貢献をめざす強い意志を持つ人 2. 評価方法について 上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学で学修するための基盤となる学力などについて評価します。 (1) 一般選抜 ア. 一般入試 ① 1科目型: ・ 個別学力検査(外国語)により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学者を選抜する入試については、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。[前期: S方式] ・ 個別学力検査(外国語)により評価します。[後期: 一般入試] ② 2科目型: ・ 個別学力検査(外国語、国語)により評価します。[前期: A方式] ③ 3科目型: ・ 個別学力検査(外国語)と大学入学共通テスト(国語、選択科目)により評価します。[前期: 共通テストプラス方式] イ. 大学入学共通テスト利用入試 ① 3科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語、選択科目の3科目)の得点により評価します。[前期] ② 5科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語、地歴公民、数学、理科の5科目)の得点により評価します。[前期] ③ 2科目型: 大学入学共通テスト(英語、選択科目の2科目)の得点により評価します。[後期] (2) 学校推薦型選抜 ア. 公募制推薦入試 ・ 基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。 イ. 指定校制推薦入試 ・ 書類選考、口頭試問(面接)を総合して評価します。 (3) 特別型選抜 ア. 社会人入試 ・ 書類選考、筆記試験および口頭試問(面接)を総合して評価します。 イ. 帰国生徒入試 ・ 筆記試験および口頭試問(面接)を総合して評価します。
-------------------------------------	--

【資料3】 養成する人材像と3つのポリシーとの関係性



《アジア共創学科 学修概念図》

養成する人材像

- (1) 英語をはじめアジア言語の実践的な運用能力、および文化の枠を超えて、柔軟に対応できる国際感覚を備えた人材
- (2) 現在のグローバル・アジアのありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会・歴史・価値観等に関する深い知識・理解と教養を有し、それらをもとにアジアの相互理解、協働と連帯、共生を実現できる共創力を備えた人材
- (3) アジアの多様性を尊重しつつ共創力をもち、新しい価値を創出しながらグローバル・アジアの社会課題の解決に寄与し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に貢献できる人材

DP

卒業

- DP1. 英語ならびにアジア言語の実践的な運用能力にもとづき、円滑なコミュニケーションを行うことができる。《知識・理解、コミュニケーション力》
- DP2. 現代のグローバル社会のありようを理解するとともに、アジアの多様な文化・社会に関する深い知識と教養をもとに、アジアの相互理解、協働・連帯、共生することができる。《知識・理解、態度・志向性》
- DP3. グローバル・アジアの社会課題を理解するとともに深く考察し、総合的な思考力、分析力・構想力を発揮して課題解決に向けて行動することができる。《思考力、創造力、課題解決力》
- DP4. 多様性を尊重しつつ人種・文化・価値観等を異にする人々と協働し、共創によって新たな価値を生み出すために主体的に行動することができる。《態度・志向性、共創力》

CP

完成
(4年次)

発展
(2年次)
(3年次)

基礎
(1年次)



AP

- (1) 基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人
- (2) 実践的な言語運用能力の向上を図るとともに、アジア・日本の言語・文化・社会に関する知識・技能・教養を養い、グローバル社会において柔軟な国際感覚を身につけようとする積極的な姿勢や情熱を持つ人
- (3) アジア・日本の文化・社会、グローバル社会のありようについて積極的に学び、理解して、アジアを起点として世界の持続的発展への貢献をめざす強い意志を持つ人

【資料5】 カリキュラムマップ

DP1：英語、アジア言語の実践的運用能力、コミュニケーション力 《知識・理解・コミュニケーション力》
 DP2：アジアの多様な文化・社会に関する深い知識と教養、アジアの相互理解、協働と連帯、共生
 《知識・理解、態度・志向性》
 DP3：グローバル・アジアの社会課題の理解、総合的思考力・分析力・構想力、課題解決に向けた行動力
 《知識・理解、思考力、創造力、課題解決力》
 DP4：人種・文化・価値観を異にする人々の協働、共創による主体的な行動力 《態度・志向性、共創力》

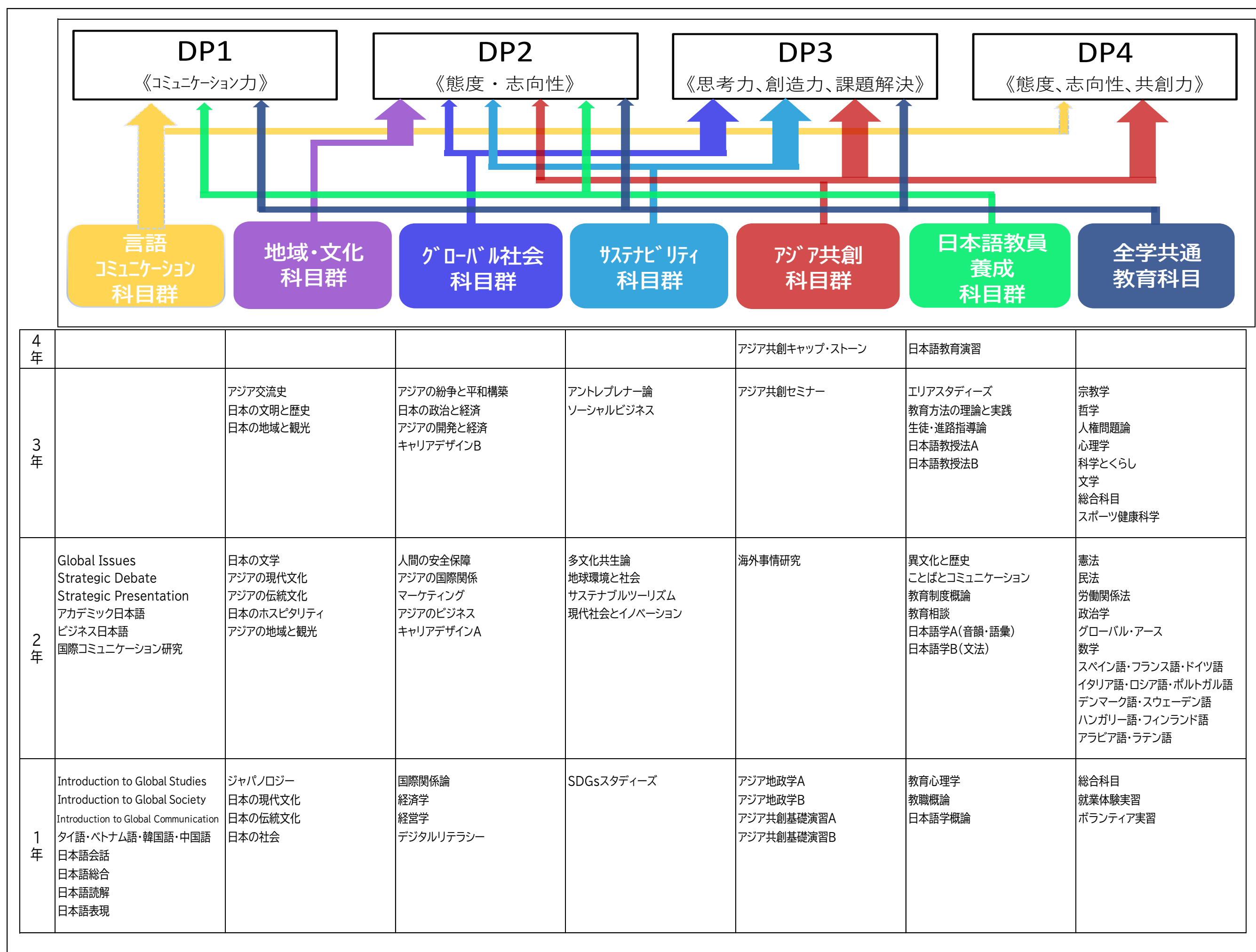
カリキュラム・ポリシー（CP）との関係性		授業科目の名称	ディプロマ・ポリシー(DP)との関係性			
			(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	言語コミュニケーション科目群	Introduction to Global Studies I	◎			
		Introduction to Global Studies II	◎			
		Introduction to Global Society I	◎			
		Introduction to Global Society II	◎			
		Introduction to Global Communication I	◎			
		Introduction to Global Communication II	◎			
		Global Issues A	◎			
		Global Issues B	◎			
		中国語 I	◎			
		中国語 II	◎			
		韓国語 I	◎			
		韓国語 II	◎			
		タイ語 I	◎			
		タイ語 II	◎			
		ベトナム語 I	◎			
		ベトナム語 II	◎			
		日本語会話 I	◎			
		日本語会話 II	◎			
		日本語表現 I	◎			
		日本語表現 II	◎			
		日本語読解 I	◎			
		日本語読解 II	◎			
		日本語総合 I	◎			
		日本語総合 II	◎			
		ビジネス日本語 I	◎			
		ビジネス日本語 II	◎			
		アカデミック日本語 I	◎			
		アカデミック日本語 II	◎			
		Strategic Debate A	◎			
		Strategic Debate B	◎			
Strategic Presentation A	◎					
Strategic Presentation B	◎					
国際コミュニケーション研究A	◎			○		
国際コミュニケーション研究B	◎			○		
国際コミュニケーション研究C	◎			○		
国際コミュニケーション研究D	◎			○		

カリキュラム・ポリシー (CP) との関係性		授業科目の名称	ディプロマ・ポリシー(DP)との関係性			
			(1)	(2)	(3)	(4)
専 門 教 育 科 目	地 域 ・ 文 化 科 目 群	ジャパノロジー		◎		
		日本の文学		◎		
		日本の現代文化		◎		
		アジアの現代文化		◎		
		日本の伝統文化		◎		
		アジアの伝統文化		◎		
		アジア交流史		◎		
		日本の文明と歴史		◎		
		日本の社会		◎		
		日本のホスピタリティ		◎		
		日本の地域と観光		◎		
		アジアの地域と観光		◎		
	グ ロ ー バ ル 社 会 科 目 群	国際関係論			◎	
		人間の安全保障			◎	
		アジアの国際関係			◎	
		アジアの紛争と平和構築			◎	
		経済学			◎	
		日本の政治と経済			◎	
		アジアの開発と経済			◎	
		経営学			◎	
		マーケティング			◎	
		アジアのビジネス			◎	
		デジタルリテラシー			○	
		キャリアデザインA			○	
		キャリアデザインB			○	
	サ ス テ ナ ビ リ テ ィ 科 目 群	SDGsスタディーズ			◎	
		多文化共生論			◎	
		地球環境と社会			◎	
		サステナブルツーリズム			◎	
		現代社会とイノベーション			◎	
		アントレプレナー論			◎	
		ソーシャルビジネス			◎	
	ア ジ ア 共 創 科 目 群	アジア地政学A		○	◎	
		アジア地政学B		○	◎	
		アジア共創基礎演習A		○	◎	
		アジア共創基礎演習B		○	◎	
		海外事情研究A		○	○	○
		海外事情研究B		○	○	○
		海外事情研究C		○	○	○
		海外事情研究D		○	○	○
		アジア共創セミナーⅠ		○	○	◎
		アジア共創セミナーⅡ		○	○	◎
		アジア共創キャップ・ストーンⅠ		○	○	◎
		アジア共創キャップ・ストーンⅡ		○	○	◎

カリキュラム・ポリシー（CP）との関係性		授業科目の名称	ディプロマ・ポリシー(DP)との関係性			
			(1)	(2)	(3)	(4)
専門教育科目	日本語教員養成科目群	異文化と歴史		○		
		ことばとコミュニケーション	○			
		エリアスタディーズ		○		
		教育心理学		○		
		教職概論		○		
		教育制度概論		○		
		教育方法の理論と実践		○		
		生徒・進路指導論		○		
		教育相談		○		
		日本語学概論	○			
		日本語学A（音韻・語彙）	○			
		日本語学B（文法）	○			
		日本語教授法A	○			
		日本語教授法B	○			
		日本語教育演習	○			
全学共通教育科目		宗教学		○		
		哲学		○		
		人権問題論		○		
		憲法		○		
		民法		○		
		労働関係法		○		
		政治学		○		
		グローバル・アース		○		
		数学		○		
		心理学		○		
		科学とくらし		○		
		文学		○		
		総合科目A		○		
		総合科目B		○		
		総合科目C		○		
		総合科目D		○		
		総合科目E		○		
		総合科目F		○		
		総合科目G		○		
		総合科目H		○		
		総合科目I		○		
		スポーツ健康科学				○
		スペイン語Ⅰ	○			
		スペイン語Ⅱ	○			
		フランス語Ⅰ	○			
		フランス語Ⅱ	○			
		ドイツ語Ⅰ	○			
		ドイツ語Ⅱ	○			
		イタリア語Ⅰ	○			
		イタリア語Ⅱ	○			

カリキュラム・ポリシー（CP）との関係性	授業科目の名称	ディプロマ・ポリシー(DP)との関係性			
		(1)	(2)	(3)	(4)
全学 共通 教育 科目	ロシア語	○			
	ポルトガル語	○			
	デンマーク語	○			
	スウェーデン語	○			
	ハンガリー語	○			
	フィンランド語	○			
	アラビア語	○			
	ラテン語	○			
	就業体験実習A				○
	就業体験実習B				○
	就業体験実習C				○
	就業体験実習D				○
	就業体験実習E				○
	ボランティア実習A				○
	ボランティア実習B				○
	ボランティア実習C				○
	ボランティア実習D				○
	ボランティア実習E				○

【資料5】 アジア共創学科カリキュラムツリー



【資料6】
2028年度 アジア共創学科 時間割表（春学期）

1限（9：00～10：30）							2限（10：45～12：15）							3限（13：15～14：45）							4限（15：00～16：30）							5限（16：40～18：10）						
区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間					
月曜日	言	ア1	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V101	1前	言	ア2	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V101	1前	言	1	中国語Ⅰ	相原	V209	1前	言	3	中国語Ⅰ	安田	V209	1前	グ	1	経営学	大谷	V119	1前				
	言	ア4	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V102	1前	言	ア5	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V115	1前	言	2	中国語Ⅰ	宋	V210	1前	言	4	中国語Ⅰ	中曽根	V210	1前	日	1	日本語教授法A	永富	V115	3前				
	言	ア2	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V116	1前	言	ア3	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V113	1前	言	1	韓国語Ⅰ	韓（恵）	V211	1前	言	2	韓国語Ⅰ	韓（恵）	V211	1前	全	1	憲法	安枝	V101	2前				
	言	ア5	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V115	1前	言	ア6	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V114	1前	言	1	タイ語Ⅰ	清水	V212	1前	言	1	ビジネス日本語Ⅰ	西郷	V212	2前	全	1	ハンガリー語	田代	V102	2前				
	言	S1	日本語読解Ⅰ	松尾	V119	1前	言	S1	日本語表現Ⅰ	趙	V119	1前	言	1	ベトナム語Ⅰ	伊澤	A216	2前	地	1	日本の地域と観光	西田	A208	3前										
	言	F1	日本語読解Ⅱ	韓（恵）	V118	1前	言	1	アカデミック日本語Ⅰ	宋	V116	2前	言	F1	日本語表現Ⅱ	趙	V119	1前	サ	1	現代社会とイノベーション	大塚	A310	1前										
	言	1	Strategic Debate A	アンドリュース	V114	2前	グ	1	アジアの紛争と平和構築	片山（慶）	V118	3前	地	1	日本の伝統文化	井口	A208	2前	全	1	心理学	篠原	A210	3前										
	全	1	ドイツ語Ⅰ	永谷（麻）	V113	2前	全	1	総合科目E	松崎	A207	3前	グ	1	人間の安全保障	金（樹）	A207	2前	全	1	文学	久岡	A207	3前										
																		全	1	総合科目H	西坂	A209	1前											
火曜日	言	ア3	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V113	1前	言	ア1	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	V101	1前	地	1	日本の文明と歴史	牛	A207	3前	地	1	ジャパノロジー	牛	A209	1前	日	1	教育心理学	森田	V101	1前				
	言	ア6	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V114	1前	言	ア4	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	V102	1前	グ	1	経済学	佐藤	A208	1前	グ	1	アジアの国際関係	長谷川	A210	2前	全	1	哲学	染田	V102	3前				
	言	ア1	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V101	1前	言	ア1	Global Issues A	ハサノバ	A207	2前	ア	1	アジア地政学A	金（樹）	V209	1前	ア	1	アジア共創セミナーⅠ	長友	V209	3前										
	言	ア4	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V102	1前	言	F1	日本語会話Ⅱ	韓（恵）	V116	1前	ア	2	アジア地政学A	宋	V210	1前	ア	2	アジア共創セミナーⅠ	新	V210	3前										
	言	S1	日本語会話Ⅰ	韓（恵）	V116	1前	地	1	日本のホスピタリティ	佐野川谷	A208	2前	ア	3	アジア地政学A	趙	V211	1前	ア	3	アジア共創セミナーⅠ	金（樹）	V211	3前										
	言	1	Strategic Presentation A	アンドリュース	V118	2前	グ	1	アジアのビジネス	中曽根	A209	2前	ア	4	アジア地政学A	相原	V212	1前	ア	4	アジア共創セミナーⅠ	王	V212	3前										
	地	1	アジアの伝統文化	西川	V119	2前	日	1	日本語学B（文法）	安井	V114	2前	全	1	労働関係法	谷本（義）	V116	2前	日	1	エリアスタディーズ	ドクッル	V119	3前										
	全	1	デンマーク語	リセ	V115	2前	全	1	スペイン語Ⅰ	林（安）	V115	2前	全	1	ロシア語	柚木	V115	2前	全	1	アラビア語	中江	V115	2前										
水曜日	言	ア2	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	V115	1前	言	1	Strategic Debate A	アンドリュース	A207	2前	言	ア3	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	A211	1前	グ	1	デジタルリテラシー	阿部（法）	A207	1通	グ	1	経営学	大谷	A209	1前				
	言	ア5	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	V116	1前	地	1	日本の地域と観光	西田	A208	3前	言	ア6	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	A216	1前	サ	1	現代社会とイノベーション	大塚	A208	1前	日	1	生徒・進路指導論	新井	A216	3前				
	言	ア2	Global Issues A	ハサノバ	A207	2前	ア	1 8	アジア共創基礎演習A	西郷、長友、平山、相原、趙、牛、宋、金（樹）	—	1前	言	F1	日本語総合Ⅱ	趙	V211	1前	全	1	宗教学	花咲	V119	3前										
	言	S1	日本語総合Ⅰ	西郷	V211	1前							グ	1	キャリアデザインA	吉川	A207	2前	全	1	数学	江見	V118	2前										
	サ	1	多文化共生論	飯田	A208	2前							サ	1	アントレプレナー論	崔	A208	3前	全	1	総合科目C	区	A209	3前										
	全	1	心理学	篠原	A216	3前							全	1	文学	久岡	V101	3前	全	1	総合科目E	松崎	A210	3前										
	全	1	総合科目A	菅澤	A209	3前	ア	9	アジア共創基礎演習B	吉崎	V101	1前	全	1	フランス語Ⅰ	ドクッル	V102	2前	全	1	ドイツ語Ⅰ	永谷（麻）	V116	2前										
	全	1	イタリア語Ⅰ	片山（浩）	V212	2前	全	1	スポーツ健康科学	相良	体育館	3前																						
木曜日	言	ア2	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V113	1前	言	ア1	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V115	1前	言	ア1	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	V115	1前	言	1	中国語Ⅰ	相原	V209	1前	地	1	ジャパノロジー	牛	A209	1前				
	言	ア5	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V114	1前	言	ア4	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V116	1前	言	ア4	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	V116	1前	言	2	中国語Ⅰ	宋	V210	1前	日	1	教育制度概論	チャクル	V113	2前				
	言	ア3	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V115	1前	言	ア2	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V113	1前	地	1	アジアの伝統文化	西川	A207	2前	言	1	韓国語Ⅰ	韓（恵）	V211	1前	全	1	ハンガリー語	田代	V114	2前				
	言	ア6	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V116	1前	言	ア5	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V114	1前	グ	1	人間の安全保障	金（樹）	A208	2前	言	1	タイ語Ⅰ	清水	V212	1前										
	言	S1	日本語読解Ⅰ	松尾	V101	1前	言	S1	日本語表現Ⅰ	趙	V101	1前	全	1	哲学	染田	A209	3前	言	1	ベトナム語Ⅰ	伊澤	A211	2前										
	言	F1	日本語読解Ⅱ	韓（恵）	V102	1前	言	1	アカデミック日本語Ⅰ	宋	V119	2前	全	1	労働関係法	谷本（義）	A210	2前	言	1	ビジネス日本語Ⅰ	西郷	A216	2前										
	地	1	日本のホスピタリティ	佐野川谷	V119	2前	日	1	日本語教授法A	永富	V102	3前	全	1	スペイン語Ⅰ	林（安）	V101	2前	地	1	日本の伝統文化	井口	A210	2前										
													全	1	アラビア語	中江	V102	2前	グ	1	アジアの紛争と平和構築	片山（慶）	A207	3前										
金曜日	言	ア3	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	V209	1前	言	ア3	Introduction to Global SocietyⅠ	ハサノバ	V209	1前	言	ア2	Introduction to Global CommunicationⅠ	マニオン	V211	1前	言	3	中国語Ⅰ	安田	V113	1前	全	1	宗教学	花咲	A315	3前				
	言	ア6	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	V210	1前	言	ア6	Introduction to Global SocietyⅠ	マーフィー	V210	1前	言	ア4	Introduction to Global CommunicationⅠ	マシュー	V212	1前	言	4	中国語Ⅰ	中曽根	V114	1前	全	1	数学	江見	A310	2前				
	言	ア1	Global Issues A	ハサノバ	A210	2前	言	ア1	Introduction to Global StudiesⅠ	平山	V211	1前	言	ア2	Global Issues A	ハサノバ	A207	2前	言	2	韓国語Ⅰ	韓（恵）	V115	1前										
	言	S1	日本語会話Ⅰ	韓（恵）	V211	1前	言	ア4	Introduction to Global StudiesⅠ	長友	V212	1前	言	F1	日本語表現Ⅱ	趙	A216	1前	言	F1	日本語総合Ⅱ	趙	V116	1前										
	グ	1	アジアのビジネス	中曽根	A208	2前	言	F1	日本語会話Ⅱ	韓（恵）	A216	1前	言	S1	日本語総合Ⅰ	西郷	A211	1前	グ	1	経済学	佐藤	A307	1前										
	日	1	日本語学B（文法）	安井	V212	2前	言	1	Strategic Presentation A	アンドリュース	A210	2前	グ	1	アジアの国際関係	長谷川	A208	2前	サ	1	アントレプレナー論	崔	A208	3前										
	全	1	総合科目C	区	A209	3前	地	1	日本の文明と歴史	牛	A208	3前	サ	1	多文化共生論	飯田	A209	2前	日	1	エリアスタディーズ	ドクッル	A308	3前										
	全	1	スポーツ健康科学	相良	体育館	3前	全	1	フランス語Ⅰ	ドクッル	A211	2前	全	1	イタリア語Ⅰ	片山（浩）	V209	2前	全	1	総合科目A	菅澤	A309	3前										
													全	1	デンマーク語	リセ	V210	2前	全	1	ロシア語	柚木	V101	2前										

区分：言（言語コミュニケーション科目群）、地（地域・文化科目群）、グ（グローバル社会科目群）、サ（サステナビリティ科目群）、ア（アジア共創科目群）、日（日本語教員養成科目群）、全（全学共通教育科目）

クラス：ア1～ア6（国内学生指定科目）、S1（国際学生春学期入学者指定科目）、F1（国際学生秋学期入学者指定科目）

【資料6】

2028年度 アジア共創学科 時間割表（秋学期）

1限（9：00～10：30）										2限（10：45～12：15）										3限（13：15～14：45）										4限（15：00～16：30）										5限（16：40～18：10）									
区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間	区分	ｸﾗｽ	科目	担当者	教室	期間																				
月曜日	言	ア1	Introduction to Global Society II	ハサノバ	V113	1後	言	ア2	Introduction to Global Society II	ハサノバ	V113	1後	言	1	中国語Ⅱ	相原	V209	1後	言	3	中国語Ⅱ	安田	V113	1後	地	1	日本の社会	岸野	A208	1後																			
	言	ア4	Introduction to Global Society II	マーフィー	V114	1後	言	ア5	Introduction to Global Society II	マーフィー	V116	1後	言	2	中国語Ⅱ	宋	V210	1後	言	4	中国語Ⅱ	中曽根	V114	1後	全	1	民法	寥	V118	3後																			
	言	ア2	Introduction to Global Studies II	平山	V115	1後	言	ア3	Introduction to Global Studies II	平山	V114	1後	言	1	韓国語Ⅱ	韓（恵）	V211	1後	言	2	韓国語Ⅱ	韓（恵）	V115	1後	全	1	科学とくらし	浦嶋	A207	3後																			
	言	ア5	Introduction to Global Studies II	長友	V116	1後	言	ア6	Introduction to Global Studies II	長友	V115	1後	言	1	タイ語Ⅱ	清水	V212	1後	言	1	ビジネス日本語Ⅱ	西郷	V116	2後																									
	言	F1	日本語読解Ⅰ	韓（恵）	V101	1後	言	S1	日本語表現Ⅱ	趙	V102	1後	言	1	ベトナム語Ⅱ	伊澤	A216	2後	グ	1	アジアの開発と経済	金（樹）	A207	3後																									
	言	S1	日本語読解Ⅱ	松尾	V102	1後	言	1	アカデミック日本語Ⅱ	宋	V118	2後	言	F1	日本語表現Ⅰ	趙	A211	1後	日	1	異文化と歴史	靳	A209	2後																									
	言	1	Strategic Debate B	アンドリュース	A210	2後	サ	1	地域環境と社会	王	V119	2後	グ	1	マーケティング	大谷	A207	2後	全	1	人権問題論	浦嶋	A210	3後																									
	地	1	日本の文学	西川	A208	2後	地	1	日本の地域と観光	西田	A208	3後	サ	1	サステナブルツーリズム	西田	A208	2後	全	1	政治学	白崎	V119	2後																									
	全	1	ドイツ語Ⅱ	永谷（麻）	A216	2後	日	1	日本語教育演習	大澤	V101	4後	日	1	日本語教授法B	武藤	V101	3後																															
火曜日	言	ア3	Introduction to Global Society II	ハサノバ	V209	1後	言	ア1	Introduction to Global Communication II	マニオン	V211	1後	グ	1	日本の政治と経済	佐藤	A207	3後	地	1	日本の現代文化	エンリケ	A207	1後	日	1	教職概論	西村	A216	1後																			
	言	ア6	Introduction to Global Society II	マーフィー	V210	1後	言	ア4	Introduction to Global Communication II	マシュー	V212	1後	サ	1	ソーシャルビジネス	崔	A208	3後	グ	1	国際関係論	長谷川	A208	1後	全	1	スウェーデン語	梅谷	A211	2後																			
	言	ア1	Introduction to Global Studies II	平山	V211	1後	言	ア1	Global Issues A	ハサノバ	A209	2後	ア	1	アジア地政学B	金（樹）	A307	1後	サ	1	SDGsスタディーズ	王	A209	1後																									
	言	ア4	Introduction to Global Studies II	長友	V212	1後	言	F1	日本語会話Ⅰ	韓（恵）	V209	1後	ア	2	アジア地政学B	宋	A308	1後	ア	1	アジア共創セミナーⅡ	長友	V209	3後																									
	言	S1	日本語会話Ⅱ	韓（恵）	A211	1後	地	1	アジアの地域と観光	西田	A208	2後	ア	3	アジア地政学B	趙	A309	1後	ア	2	アジア共創セミナーⅡ	靳	V210	3後																									
	言	1	Strategic Debate B	アンドリュース	A207	2後	日	1	日本語学A（音韻・語彙）	安井	V119	2後	ア	4	アジア地政学B	相原	A310	1後	ア	3	アジア共創セミナーⅡ	金（樹）	V211	3後																									
	地	1	アジアの現代文化	牛	A208	2後	全	1	総合科目B	望月	A210	3後	日	1	ことばとコミュニケーション	平山	A209	2後	ア	4	アジア共創セミナーⅡ	王	V212	3後																									
							全	1	スペイン語Ⅱ	林（安）	V210	2後							日	1	日本語学概論	西川	V119	1後																									
																			全	1	グローバル・アース	浦嶋	A210	2後																									
																			全	1	ポルトガル語	山本（あ）	V101	2後																									
水曜日	言	ア2	Introduction to Global Communication II	マニオン	V101	1後	言	1	Strategic Debate B	アンドリュース	A207	2後	言	ア3	Introduction to Global Communication II	マニオン	V115	1後	言	1	Strategic Presentation B	アンドリュース	A307	2後	日	1	教育方法の理論と実践	松崎	A208	3後																			
	言	ア5	Introduction to Global Communication II	マシュー	V102	1後	地	1	日本の地域と観光	西田	V119	3後	言	ア6	Introduction to Global Communication II	マシュー	V116	1後	地	1	日本の社会	岸野	A308	1後	全	1	ラテン語	平田	A216	2後																			
	言	ア2	Global Issues A	ハサノバ	A210	2後	ア	1 8	アジア共創基礎演習B	西郷、長友、平山、相原、趙、牛、宋、金	— 1後	言	F1	日本語総合Ⅰ	趙	V101	1後	地	1	アジアの交流史	桒	A309	3後																										
	言	S1	日本語総合Ⅱ	西郷	V113	1後						グ	1	キャリアデザインB	吉川	A207	3後	グ	1	デジタルリテラシー	阿部（法）	A310	1通																										
	サ	1	地域環境と社会	王	A209	2後						日	1	異文化と歴史	靳	A208	2後	全	1	民法	寥	A310	3後																										
	全	1	総合科目D	金山	A208	3後						全	1	人権問題論	浦嶋	A209	3後	全	1	総合科目G	西阪	A210	1後																										
	全	1	スポーツ健康科学	相良	体育館	3後	ア	9	アジア共創基礎演習A	吉崎	A211	1後	全	1	政治学	白崎	A210	2後	全	1	総合科目I	松崎	A209	1後																									
	全	1	イタリア語Ⅱ	片山（浩）	V112	2後							全	1	フランス語Ⅱ	ドクッル	V102	2後	全	1	ドイツ語Ⅱ	永谷（麻）	A211	2後																									
木曜日	言	ア2	Introduction to Global Society II	ハサノバ	V113	1後	言	ア1	Introduction to Global Society II	ハサノバ	A211	1後	言	ア1	Introduction to Global Communication II	マニオン	A211	1後	言	1	中国語Ⅱ	相原	V209	1後	日	1	日本語学概論	西川	V118	1後																			
	言	ア5	Introduction to Global Society II	マーフィー	V114	1後	言	ア4	Introduction to Global Society II	マーフィー	A216	1後	言	ア4	Introduction to Global Communication II	マシュー	A216	1後	言	2	中国語Ⅱ	桒	V210	1後																									
	言	ア3	Introduction to Global Studies II	平山	V115	1後	言	ア2	Introduction to Global Studies II	平山	V113	1後	地	1	日本の文学	西川	A207	2後	言	1	韓国語Ⅱ	韓（恵）	V211	1後																									
	言	ア6	Introduction to Global Studies II	長友	V116	1後	言	ア5	Introduction to Global Studies II	長友	V114	1後	グ	1	日本の政治と経済	佐藤	A208	3後	言	1	タイ語Ⅱ	清水	V212	1後																									
	言	F1	日本語読解Ⅰ	韓（恵）	V101	1後	言	1	アカデミック日本語Ⅱ	宋	V115	2後	サ	1	サステナブルツーリズム	西田	A209	2後	言	1	ベトナム語Ⅱ	伊澤	V101	2後																									
	言	S1	日本語読解Ⅱ	松尾	V102	1後	グ	1	アジアの開発と経済	金	A210	3後	全	1	グローバル・アース	浦嶋	A210	2後	言	1	ビジネス日本語Ⅱ	西郷	V102	2後																									
	地	1	アジアの地域と観光	西田	V119	2後							全	1	スペイン語Ⅱ	林（安）	A312	2後	グ	1	アジアの開発と経済	金（樹）	V119	3後																									
																		全	1	科学とくらし	浦嶋	A211	3後																										
金曜日	言	ア3	Introduction to Global Communication II	マニオン	V115	1後	言	ア3	Introduction to Global Society II	ハサノバ	V115	1後	言	ア2	Introduction to Global Communication II	マニオン	V101	1後	言	3	中国語Ⅱ	安田	A312	1後	地	1	日本の現代文化	エンリケ	A210	1後																			
	言	ア6	Introduction to Global Communication II	マシュー	V116	1後	言	ア6	Introduction to Global Society II	マーフィー	V116	1後	言	ア4	Introduction to Global Communication II	マシュー	V102	1後	言	4	中国語Ⅱ	中曽根	A313	1後	サ	1	SDGsスタディーズ	王	A310	1後																			
	言	ア1	Global Issues A	ハサノバ	A207	2後	言	ア1	Introduction to Global Studies II	平山	V101	1後	言	ア2	Global Issues A	ハサノバ	A307	2後	言	2	韓国語Ⅱ	韓（恵）	A314	1後	グ	1	国際関係論	長谷川	V119	1後																			
	言	S1	日本語表現Ⅱ	趙	V114	1後	言	ア4	Introduction to Global Studies II	長友	V102	1後	言	S1	日本語総合Ⅱ	西郷	V209	1後	言	F1	日本語総合Ⅰ	趙	A315	1後	日	1	ことばとコミュニケーション	平山	A312	2後																			
	グ	1	マーケティング	大谷	A208	2後	言	F1	日本語会話Ⅰ	韓（恵）	A211	1後	地	1	アジア交流史	桒	A308	3後	サ	1	ソーシャルビジネス	崔	A207	3後																									
	日	1	日本語教授法B	武藤	V113	3後	言	1	Strategic Presentation B	アンドリュース	A210	2後	日	1	日本語学A（音韻・語彙）	安井	V210	2後	日	1	教育相談	森田	A208	2後																									
							地	1	アジアの現代文化	牛	A209	2後	全	1	総合科目B	望月	A309	3後	全	1	総合科目D	金山	A209	3後																									
							全	1	スポーツ健康科学	相良	体育館	3後	全	1	イタリア語Ⅱ	片山（浩）	V211	2後	全	1	スウェーデン語	梅谷	A216	2後																									
集中講義：1フィンランド語 山川																																																	
区分：言（言語コミュニケーション科目群）、地（地域・文化科目群）、グ（グローバル社会科目群）、サ（サステナビリティ科目群）、ア（アジア共創科目群）、日（日本語教員養成科目群）、全（全学共通教育科目）																																																	
クラス：ア1～ア6（国内学生指定科目）、S1（国際学生春学期入学者指定科目）、F1（国際学生秋学期入学者指定科目）																																																	

履修モデル①

国際学生：日本・海外での就職(企業)

	1年次	2年次	3年次	4年次	計
必修・専門 選択必修科目	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 日本語読解Ⅰ 日本語読解Ⅱ 日本語総合Ⅰ 日本語総合Ⅱ アジア地政学A アジア地政学B アジア共創基礎演習A アジア共創基礎演習B	ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ			56
	40	16	0	0	
専門 選択科目		ジャパノロジー 日本の現代文化 日本の伝統文化 日本の社会	国際関係論 SDGsスタディーズ 日本の文学 アジアの現代文化 アジアの伝統文化 日本のホスピタリティ アジアの地域と観光	日本の文明と歴史 日本の地域と観光 アジア共創キャップ・ストーンⅠ アジア共創キャップ・ストーンⅡ	56
	0	16	28	12	
全学 共通教育科目			科学とくらし	哲学 ポルトガル語 デンマーク語	12
	0	0	4	8	
計	40	32	32	20	124

履修モデル②

国内学生：日本・海外での就職(企業)

	1年次	2年次	3年次	4年次	計
必修・専門 選択必修科目	Introduction to Global Studies I Introduction to Global Studies II Introduction to Global Society I Introduction to Global Society II Introduction to Global Communication I Introduction to Global Communication II アジア地政学A アジア地政学B アジア共創基礎演習A アジア共創基礎演習B	Global Issues A Global Issues B			40
	32	8	0	0	
専門 選択教育科目	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ デジタルリテラシー	ジャパノロジー 国際関係論 人間の安全保障 経済学 Strategic Debate A Strategic Debate B キャリアデザインA	アジア交流史 日本の地域と観光 経営学 SDGsスタディーズ キャリアデザインB アジア共創セミナーⅠ アジア共創セミナーⅡ	マーケティング 現代社会とイノベーション アジアの開発と経済 アジア共創キャップ・ストーンⅠ アジア共創キャップ・ストーンⅡ	66
	6	22	22	16	
全学 共通教育科目		憲法 グローバル・アース	人権問題論 文学	総合科目F	18
	0	8	8	2	
計	38	38	30	18	124

履修モデル③

国内学生：日本語教員

	1年次	2年次	3年次	4年次	計
必修・専門 選択必修科目	Introduction to Global Studies I Introduction to Global Studies II Introduction to Global Society I Introduction to Global Society II Introduction to Global Communication I Introduction to Global Communication II タイ語 I タイ語 II アジア地政学A アジア地政学B アジア共創基礎演習A アジア共創基礎演習B	Global Issues A Global Issues B			44
	36	8	0	0	
専門 選択教科科目	教育心理学 教職概論 教育制度概論 教育相談 異文化と歴史 ことばとコミュニケーション 日本語学概論 日本語学A(音韻・語彙) 日本語学B(文法) 国際関係論		エリアスタディーズ 教育方法の理論と実践 生徒・進路指導論 日本語教授法A 日本語教授法B ジャパノロジー SDGsスタディーズ	日本語教育演習 アジア共創キャップ・ストーン I アジア共創キャップ・ストーン II	62
		32	24	6	
全学共通 教科科目			人権問題論 数学 スポーツ健康科学	民法 労働関係法	18
	0	0	10	8	
計	36	40	34	14	124

履修モデル④

3年次編入学生の履修モデル(国際学生)

	単位認定科目		3年次	4年次	計
	1年次配当科目	2年次配当科目			
必修・専門 選択必修科目	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 日本語読解Ⅰ 日本語読解Ⅱ 日本語総合Ⅰ 日本語総合Ⅱ アジア地政学A アジア地政学B アジア共創基礎演習A アジア共創基礎演習B	ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ			56
	40	16	0	0	
専門 選択教育科目		国際関係論 SDGsスタディーズ	ジャパノロジー 日本の現代文化 日本の伝統文化 日本の社会 日本の文学 アジアの現代文化 アジアの伝統文化 日本のホスピタリティ アジアの地域と観光	日本の文明と歴史 日本の地域と観光 アジア共創キャップ・ストーンⅠ アジア共創キャップ・ストーンⅡ	56
	0	8	36	12	
全学 共通教育科目			科学とくらし	哲学 ポルトガル語 デンマーク語	12
	0	0	4	8	
計		64	40	20	124

【資料 8】

3 年次編入学生の単位認定について

アジア共創学科へ編入学する場合の単位認定については以下の通りとします。

1. 単位認定上限単位は、一括認定と個別認定を合わせて 64 単位
2. 専門教育科目の必修科目について、「アジア地政学 A/B」「アジア共創基礎演習 A/B」の 4 科目 8 単位を一括認定
3. 専門教育科目の言語コミュニケーション科目群のうち、国際学生は原則として「日本語会話Ⅰ/Ⅱ」「日本語表現Ⅰ/Ⅱ」「日本語読解Ⅰ/Ⅱ」「日本語総合Ⅰ/Ⅱ」の 8 科目 32 単位を一括認定、国内学生は「Introduction to Global StudiesⅠ/Ⅱ」「Introduction to Global SocietyⅠ/Ⅱ」「Introduction to Global CommunicationⅠ/Ⅱ」「Global Issues A/B」の 8 科目 32 単位を一括認定。
4. 上記 2、3 を除く専門選択科目について、編入学前の修得科目の内容、学修時間に応じて個別に認定
5. 全学共通教育科目について、編入学前の修得科目の内容、学修時間に応じて個別に認定

【資料8】 3年次編入学単位認定表

①一括認定科目

科目区分		科目名	単位数	配当年次	認定方法
専門教育科目	アジア共創科目群	アジア地政学A	2	1	一括認定 4科目 8単位
		アジア地政学B	2	1	
		アジア共創基礎演習A	2	1	
		アジア共創基礎演習B	2	1	
	言語コミュニケーション科目群	日本語会話Ⅰ	4	1	【国際学生】 一括認定 8科目 32単位
		日本語会話Ⅱ	4	1	
		日本語表現Ⅰ	4	1	
		日本語表現Ⅱ	4	1	
		日本語読解Ⅰ	4	1	
		日本語読解Ⅱ	4	1	
		日本語総合Ⅰ	4	1	
		日本語総合Ⅱ	4	1	
		Introduction to Global StudiesⅠ	4	1	【国内学生】 一括認定 8科目 32単位
		Introduction to Global StudiesⅡ	4	1	
		Introduction to Global SocietyⅠ	4	1	
		Introduction to Global SocietyⅡ	4	1	
		Introduction to Global CommunicationⅠ	4	1	
		Introduction to Global CommunicationⅡ	4	1	
		Global Issues A	4	2	
		Global Issues B	4	2	

②専門教育科目の個別認定対象科目

科目群	配当年次	科目名
言語コミュニケーション科目群	1	中国語Ⅰ(2)、中国語Ⅱ(2)、韓国語Ⅰ(2)、韓国語Ⅱ(2)、タイ語Ⅰ(2)、タイ語Ⅱ(2)、ベトナム語Ⅰ(2)、ベトナム語Ⅱ(2)、
	2	ビジネス日本語Ⅰ(4)、ビジネス日本語Ⅱ(4)、アカデミック日本語Ⅰ(4)、アカデミック日本語Ⅱ(4)、Strategic Debate A(2)、Strategic Debate B(2)、Strategic Presentation A(2)、Strategic Presentation B(2)、国際コミュニケーション研究A(2)、国際コミュニケーション研究B(2)、国際コミュニケーション研究C(4)、国際コミュニケーション研究D(4)
地域・文化科目群	1	ジャパノロジー(4)、日本の現代文化(4)、日本の伝統文化(4)、日本の社会(4)
	2	日本の文学(4)、アジアの現代文化(4)、アジアの伝統文化(4)、日本のホスピタリティ(4)、アジアの地域と観光(4)
グローバル社会科目群	1	国際関係論(4)、経済学(4)、経営学(4)、デジタルリテラシー(2)
	2	人間の安全保障(4)、アジアの国際関係(4)、マーケティング(4)、アジアのビジネス(4)、キャリアデザインA(2)
サステナビリティ科目群	1	SDGsスタディーズ(4)
	2	多文化共生論(4)、地球環境と社会(4)、サステナブルツーリズム(4)、現代社会とイノベーション(4)
アジア共創科目群	2	海外事情研究A(4)、海外事情研究B(4)、海外事情研究C(4)、海外事情研究D(4)
日本語教員養成科目群	1	教育心理学(2)、教職概論(2)、日本語学概論(4)
	2	異文化と歴史(4)、ことばとコミュニケーション(4)、教育制概論(2)、教育相談(2)、日本語学A(音韻・語彙)(4)、日本語学B(文法)(4)

() 内は単位数

③全学共通教育科目の個別認定対象科目

科目群	配当年次	科目名
全学共通教育科目	1	総合科目F(2)、総合科目G(2)、総合科目H(2)、総合科目I(2)、就業体験実習A(2)、就業体験実習B(2)、就業体験実習C(2)、就業体験実習D(2)、就業体験実習E(1)、ボランティア実習A(2)、ボランティア実習B(2)、ボランティア実習C(2)、ボランティア実習D(2)、ボランティア実習E(1)
	2	憲法(4)、民法(4)、労働関係法(4)、政治学(4)、グローバル・アース(4)、数学(4)、スペイン語Ⅰ(2)、スペイン語Ⅱ(2)、フランス語Ⅰ(2)、フランス語Ⅱ(2)、ドイツ語Ⅰ(2)、ドイツ語Ⅱ(2)、イタリア語Ⅰ(2)、イタリア語Ⅱ(2)、ロシア語(2)、ポルトガル語(2)、デンマーク語(2)、スウェーデン語(2)、ハンガリー語(2)、フィンランド語(2)、アラビア語(2)、ラテン語(2)

() 内は単位数

○単位認定上限単位は、一括認定と個別認定を合わせて64単位を上限とする。

○個別認定は、編入学前の修得科目の内容、学修時間に応じて相応する科目を個別に認定する。

【資料9】2023年度 企業実習受入先一覧

No.	受入先(50音順)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
1	株式会社I.S.コンサルティング	その他(インターンシップ系)	兵庫県	8
2	ICS関西	団体	大阪府	5
3	青山商事株式会社	小売業	広島県	2
4	旭情報サービス株式会社	その他(IT・情報サービス)	大阪府	10
5	イオンフィナンシャルサービス株式会社	金融業	東京都	2
6	株式会社インダ	メーカー	京都府	3
7	株式会社内田洋行	商社	大阪府	1
8	株式会社ANA総合研究所(ANA関西空港株式会社)	航空業	大阪府	62
9	株式会社ANA総合研究所(ANA中部空港株式会社)	航空業	愛知県	10
10	SMBC日興証券株式会社 大阪公益法人営業部	金融業	大阪府	6
11	SMBC日興証券株式会社 京都支店	金融業	京都府	3
12	合同会社エス・ホテルオペレーションズ京都堀川 メルクユール京都ステーション	ホテル	京都府	1
13	株式会社エンジェルリゾートグループ小豆島 小豆島国際ホテル	ホテル	香川県	4
14	公益財団法人 大阪国際交流センター	団体	大阪府	4
15	金井ホールディングス株式会社	メーカー	大阪府	1
16	株式会社Camellia 茶道体験カメラア	サービス	京都府	10
17	株式会社関西マツダ	小売業	大阪府	4
18	北おおさか信用金庫	金融業	大阪府	1
19	協同組合関西ファッション連合(KanFA)	団体	大阪府	2
20	錦城護謄株式会社	メーカー	大阪府	2
21	KCJ GROUP株式会社 キッザニア甲子園	エンターテインメント	兵庫県	5
22	公益財団法人 京都市国際交流協会	団体	京都府	2
23	京都中央信用金庫	金融業	京都府	2
24	京都日産自動車株式会社	小売業	京都府	2
25	株式会社近鉄・都ホテルズ 大阪マリオット都ホテル	ホテル	大阪府	2
26	株式会社近鉄・都ホテルズ ホテル近鉄ユニバーサル・シティ	ホテル	大阪府	5
27	株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル 京都八条	ホテル	京都府	4
28	ザ・リッツ・カールトン・プロパティ・マネジメント・カンパニー東京有限会社 ザ・リッツ・カールトン京都	ホテル	京都府	4
29	サンフロンティアホテルマネジメント株式会社	ホテル	東京都	4
30	GHS株式会社 大阪ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル大阪	ホテル	大阪府	5
31	株式会社志摩スペイン村	サービス	三重県	6
32	株式会社新神戸ホールディング ANAクラウンプラザホテル神戸	ホテル	兵庫県	8
33	株式会社SYNTH	その他(レンタルオフィス)	大阪府	4
34	株式会社スタジオアリス	サービス	東京都	4
35	セイハネットワーク株式会社	サービス	大阪府	6
36	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	ホテル	東京都	3
37	株式会社大伸社ディライト	その他(デザイン業)	大阪府	2
38	大東土地株式会社	建設・不動産業	大阪府	4
39	ダイワボウ情報システム株式会社	商社	大阪府	10
40	高見株式会社 TAKAMI BRIDAL	サービス	京都府	3
41	トヨタユニテッド奈良株式会社	小売業	奈良県	3
42	ナビオコンピュータ株式会社	その他(IT・情報サービス)	大阪府	1
43	ニセコビレッジ株式会社 HILTON NISEKO VILLAGE	ホテル	北海道	7
44	株式会社日興商会	商社	兵庫県	1
45	株式会社ニュー・オータニ ホテルニューオータニ大阪	ホテル	大阪府	10
46	ネットヨタ大阪株式会社	小売業	大阪府	1
47	ハイアット リソースキャピタルジャパン合同会社 パークハイアット 京都	ホテル	京都府	5
48	株式会社ハヤシゴ	商社	大阪府	12
49	株式会社阪神ホテルシステムズ ザ・リッツ・カールトン大阪	ホテル	大阪府	30
50	株式会社東山ホールディング ハイアットリージェンシー京都	ホテル	京都府	3
51	特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議	団体	大阪府	7
52	枚方市役所	公務	大阪府	2
53	フェデラル エクスプレス コーポレーション	物流・運輸業	東京都	2
54	株式会社ベオスアイティホールディングス	その他(IT・情報サービス)	大阪府	12
55	株式会社ボーダーリンク	サービス	大阪府	8
56	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル大阪中之島	ホテル	大阪府	1
57	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル京都四条	ホテル	京都府	1
58	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ大阪	ホテル	大阪府	4
59	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ京都	ホテル	京都府	6
60	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ グラスミア大阪	ホテル	大阪府	9
61	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ ラ・スール大阪	ホテル	大阪府	4
62	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 京都グランデ・京都駅南	ホテル	京都府	3
63	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 ユニバーサルタワー	ホテル	大阪府	4

No.	受入先(50音順)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
64	株式会社ホンダカーズ兵庫	小売業	兵庫県	12
65	株式会社まなれぼ	その他(コワーキングスペース)	大阪府	10
66	丸三証券株式会社	金融業	東京都	2
67	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融業	東京都	5
68	株式会社武蔵野 リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	ホテル	大阪府	12
69	名鉄観光サービス株式会社	旅行業	愛知県	1
70	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション	ホテル	大阪府	8
71	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 翠嵐 ラグジュアリーコレクションホテル 京都	ホテル	京都府	4
72	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 南紀白浜マリオットホテル	ホテル	和歌山県	7
73	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖マリオットホテル 琵琶湖マリオットホテル	ホテル	滋賀県	3
74	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 富士マリオットホテル山中湖	ホテル	山梨県	2
75	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 ラフォーレリゾート修善寺	ホテル	静岡県	10
76	レーキサイドホテルシステムズ株式会社 ザ・リッツ・カールトン日光	ホテル	栃木県	2
77	株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ	ホテル	京都府	3
受入可能人数 計				443

【資料9】英語国際学部 アジア共創学科 企業実習可能先一覧

No.	受入先(50音順)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
「受け入れたいと思う」と回答した企業・団体				
1	青山商事株式会社	卸売・小売業	広島県	5名
2	伊藤忠ロジスティクス株式会社	運輸・倉庫業	東京都	未定
3	株式会社エイチ・アイ・エス	その他サービス業	東京都	未定
4	株式会社NSD	情報通信業	東京都	未定
5	MMCリョウテック株式会社	製造業	岐阜県	未定
6	オーウエル株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
7	株式会社OCS	運輸・倉庫業	東京都	3名
8	大阪シティ信用金庫	金融・保険業	大阪府	3名
9	株式会社オンワード樺山	卸売・小売業	東京都	1名
10	化研テック株式会社	製造業	大阪府	未定
11	カトーレック株式会社	製造業	東京都	未定
12	株式会社関西東急ホテルズ 大阪エクセルホテル東急	飲食店・宿泊業	大阪府	2名
13	株式会社関西マツダ	卸売・小売業	大阪府	2名
14	株式会社キナン	その他サービス業	和歌山県	1名
15	株式会社キャットアイ	製造業	大阪府	5名
16	京都日産自動車株式会社	卸売・小売業	京都府	2名
17	京都中央信用金庫	金融・保険業	京都府	未定
18	ケイラインロジスティクス株式会社	運輸・倉庫業	東京都	未定
19	株式会社交洋	卸売・小売業	三重県	未定
20	佐川印刷株式会社	製造業	京都府	未定
21	サン電子工業株式会社	製造業	大阪府	2名
22	株式会社GSユアサ	製造業	京都府	未定
23	シダックス株式会社	飲食店・宿泊業	東京都	未定
24	西濃運輸株式会社	運輸・倉庫業	岐阜県	未定
25	大喜産業株式会社	卸売・小売業	大阪府	2名
26	株式会社高見沢サイバネティクス	製造業	東京都	5名
27	瀧定名古屋株式会社	卸売・小売業	愛知県	未定
28	寺内株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
29	トヨタモビリティ新大阪株式会社	卸売・小売業	大阪府	4名
30	株式会社中の坊	その他サービス業	兵庫県	5名
31	ナビオコンピュータ株式会社	情報通信業	大阪府	1名
32	株式会社日伝	卸売・小売業	大阪府	未定
33	日鉄物流株式会社	運輸・倉庫業	東京都	2名
34	株式会社東山ホールディング ハイアットリージェンシー 京都	飲食店・宿泊業	京都府	4名
35	株式会社フジトランス コーポレーション	運輸・倉庫業	愛知県	未定
36	ホテルニューアワジグループ	飲食店・宿泊業	兵庫県	5名
37	ホテル日航大阪	飲食店・宿泊業	大阪府	1名
38	ホテルモントレ株式会社	飲食店・宿泊業	大阪府	2名
39	明治安田生命相互会社	金融・保険業	大阪府	6名以上
40	横浜冷凍株式会社	卸売・小売業	神奈川県	1名
41	株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ	飲食店・宿泊業	東京都	3名
42	株式会社ロイヤルホテル	その他サービス業	大阪府	未定
43	和歌山ターマナルビル株式会社	飲食店・宿泊業	和歌山県	未定
「受け入れを検討したいと思う」と回答した企業・団体				
1	I・T・O株式会社	製造業	大阪府	未定
2	朝日電器株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
3	アマノ株式会社	製造業	神奈川県	未定
4	伊丹産業株式会社	電気・ガス・水道業	兵庫県	未定
5	株式会社一蔵	卸売・小売業	東京都	未定
6	一村産業株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
7	ウェスティンホテル大阪	飲食店・宿泊業	大阪府	1名
8	株式会社HMKロジサービス	運輸・倉庫業	大阪府	未定
9	株式会社エーアイティ	運輸・倉庫業	大阪府	1名
10	ANAテレマート株式会社	その他サービス業	東京都	未定
11	ANASカイビルサービス株式会社	建設業	東京都	未定
12	株式会社ANACargo	運輸・倉庫業	東京都	未定
13	株式会社エービーシー商会	卸売・小売業	東京都	未定
14	エスベック株式会社	製造業	大阪府	2名
15	NCS&A株式会社	情報通信業	大阪府	未定
16	NTN株式会社	製造業	大阪府	未定
17	大阪トヨペット株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
18	大阪マリOTT都ホテル	飲食店・宿泊業	大阪府	未定
19	オーシャン貿易株式会社	卸売・小売業	京都府	未定
20	岡本無線電機株式会社	卸売・小売業	大阪府	1名
21	小川珈琲株式会社	製造業	京都府	未定
22	オリックス・ホテルマネジメント株式会社	飲食店・宿泊業	東京都	2名
23	河淳株式会社	製造業	東京都	未定
24	関西日立株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
25	株式会社関西丸和ロジスティクス	運輸・倉庫業	京都府	未定
26	株式会社キューソー流通システム	運輸・倉庫業	東京都	未定
27	株式会社京都銀行	金融・保険業	京都府	未定
28	株式会社京都東急ホテル	飲食店・宿泊業	京都府	未定
29	清原株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
30	近畿日本鉄道株式会社	運輸・倉庫業	大阪府	未定
31	錦城護謄株式会社	製造業	大阪府	未定
32	株式会社近鉄・都ホテルズ シェラトン都ホテル大阪	飲食店・宿泊業	大阪府	1名
33	キンドリルジャパン	情報通信業	東京都	未定
34	株式会社クマモト	卸売・小売業	大阪府	未定
35	クラウドIAグループ	その他サービス業	京都府	2名
36	グリーンホスピタルサブライ株式会社	医療・福祉	大阪府	2名
37	京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社	飲食店・宿泊業	京都府	未定
38	株式会社KSAインターナショナル	その他サービス業	京都府	未定
39	興国インテック株式会社	製造業	東京都	2名
40	株式会社神戸物産	卸売・小売業	兵庫県	3名
41	江綿グループ	卸売・小売業	大阪府	未定
42	光洋機械産業株式会社	製造業	大阪府	2名

No.	受入先(50音順)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
43	コタ株式会社	製造業	京都府	未定
44	株式会社サザビーリーグ	飲食店・宿泊業	東京都	未定
45	サンワテクノス株式会社	卸売・小売業	東京都	未定
46	GMB株式会社	製造業	奈良県	未定
47	シークス株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
48	株式会社ジーシー	建設業	東京都	未定
49	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発	飲食店・宿泊業	京都府	未定
50	JBグループ	情報通信業	東京都	未定
51	株式会社JALナビア	運輸・倉庫業	東京都	未定
52	Joyful喜一ホールディングス株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
53	株式会社新通	その他	大阪府	2名
54	鈴与株式会社	運輸・倉庫業	静岡県	未定
55	住友三井オートサービス株式会社	金融・保険業	東京都	未定
56	住友生命保険相互会社	金融・保険業	大阪府	未定
57	セイノースーパーエクスプレス株式会社	運輸・倉庫業	東京都	未定
58	センコー株式会社	運輸・倉庫業	大阪府	未定
59	株式会社総合資格	教育・学習支援業	東京都	未定
60	ダイドー株式会社	卸売・小売業	愛知県	1名
61	ダイハツディーゼル株式会社	製造業	大阪府	未定
62	ダイワボウ情報システム株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
63	株式会社タカキタ	製造業	三重県	1名
64	高見株式会社	その他サービス業	京都府	未定
65	タキヒヨー株式会社	卸売・小売業	愛知県	未定
66	株式会社タダノ	製造業	香川県	未定
67	株式会社辰巳商会	運輸・倉庫業	大阪府	未定
68	茶谷産業株式会社	卸売・小売業	大阪府	1名
69	千代田インテグレ株式会社	製造業	東京都	未定
70	株式会社ツカモトコーポレーション	卸売・小売業	東京都	未定
71	津田産業株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
72	つるや株式会社	卸売・小売業	大阪府	1名
73	DHLジャパン株式会社	運輸・倉庫業	東京都	未定
74	株式会社ティクアンドギヴ・ニーズ	その他サービス業	東京都	未定
75	株式会社テラオカ関西	卸売・小売業	大阪府	未定
76	株式会社電業	製造業	大阪府	未定
77	東海澱粉株式会社	卸売・小売業	静岡県	未定
78	東京コンピュータサービス株式会社	情報通信業	東京都	未定
79	株式会社ドウシシャ	卸売・小売業	大阪府	未定
80	東洋シャッター株式会社	製造業	大阪府	未定
81	TOPPAN株式会社	製造業	東京都	未定
82	TONE株式会社	製造業	大阪府	未定
83	トビー実業株式会社	卸売・小売業	東京都	未定
84	トランスコスモス株式会社	その他サービス業	東京都	未定
85	株式会社トリート	その他サービス業	東京都	未定
86	長田広告株式会社	その他サービス業	愛知県	未定
87	株式会社南海エクスプレス	運輸・倉庫業	大阪府	未定
88	ニコニコのり株式会社	製造業	大阪府	未定
89	株式会社西村屋	飲食店・宿泊業	兵庫県	2名
90	日航関西エアカーゴ・システム株式会社	運輸・倉庫業	大阪府	未定
91	株式会社日新	運輸・倉庫業	神奈川県	1名
92	株式会社日本アクセス	卸売・小売業	東京都	未定
93	日本コンベンションサービス株式会社	その他サービス業	東京都	未定
94	ネットヨタ大阪株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
95	株式会社農協観光	その他サービス業	東京都	未定
96	株式会社バシフィックダイナーサービス	その他サービス業	大阪府	2名
97	株式会社バレスホテル	飲食店・宿泊業	東京都	3名
98	株式会社阪急阪神ホテルズ	飲食店・宿泊業	大阪府	未定
99	東山産業株式会社	卸売・小売業	東京都	未定
100	日本マスタートラスト信託銀行	金融・保険業	東京都	未定
101	日本郵便株式会社	その他サービス業	東京都	未定
102	株式会社フジマック	卸売・小売業	東京都	未定
103	扶桑工業株式会社	製造業	大阪府	2名
104	株式会社扶洋	卸売・小売業	大阪府	未定
105	株式会社PEGASUS	製造業	大阪府	未定
106	株式会社紅中	卸売・小売業	大阪府	未定
107	ホテルニューオータニ大阪	飲食店・宿泊業	大阪府	3名
108	マツモト産業株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
109	マリンフーズ株式会社	製造業	東京都	未定
110	株式会社マルカ	卸売・小売業	大阪府	未定
111	丸三証券株式会社	金融・保険業	東京都	未定
112	マルホ発條工業株式会社	製造業	京都府	未定
113	株式会社ミキハウス	その他	大阪府	未定
114	三井住友海上火災保険株式会社	金融・保険業	東京都	未定
115	株式会社三井住友銀行	金融・保険業	東京都	未定
116	ミツ星ベルト株式会社	製造業	兵庫県	2名
117	ムネカタ株式会社	製造業	福島県	未定
118	名鉄観光サービス株式会社	その他サービス業	愛知県	未定
119	ヤチヨコシステム株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
120	山九株式会社	運輸・倉庫業	東京都	2名
121	株式会社やまと	卸売・小売業	東京都	未定
122	株式会社ヤマナカコーキン	製造業	大阪府	2名
123	郵船ロジスティクス株式会社	運輸・倉庫業	東京都	未定
124	株式会社ユニバーサル	その他サービス業	大阪府	2名
125	吉川鐵工株式会社	製造業	大阪府	2名
126	株式会社吉田	卸売・小売業	東京都	未定
127	リコージャパン株式会社	情報通信業	東京都	未定
128	リック株式会社	卸売・小売業	大阪府	未定
129	株式会社ロココ	情報通信業	大阪府	5名
130	株式会社ロジネットジャパン	運輸・倉庫業	北海道	未定
131	株式会社ロマンス小杉	卸売・小売業	京都府	2名
受入可能人数 計				244名

【資料 10】 留学プログラム一覧

【アジア共創学科としての特色ある留学プログラム】

○ 2 年次派遣の語学留学

目 的： 海外協定先大学において語学を集中的に学修し、主に「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を向上させ、言語の実践的運用能力の強化を図る。また、他国の人々との交流を通して、異なる文化や価値観に柔軟に対応する力を身につける。

期 間： 4 週間から 1 学期間（春休み、夏休み、春学期、秋学期）

単位認定： あり

国	大学名		国	大学名	
中国	北京語言大学	大連外国語大学	カナダ	カルガリー大学	ナイアガラカレッジ
	成都理工大学	北京第二外国語学院		ウィニペグ大学	ジョージブラウン大学
	上海外国語大学	集集大学		リジャイナ大学	ロッキーズ大学
	北方工業大学	蘇州科技大学		プリンスエドワードアイランド大学	
	西安理工大学	天津外国語大学		クイーンズ大学	オカナガン大学
	西安外国語大学	四川旅游学院		ノーザンライツ大学	ユーコン大学
	天津理工大学	西安翻訳学院		ゲルフ大学	セルカーク大学
韓国	釜山外国語大学	ソウル女子大学	オーストラリア	アデレード大学	ウーロンゴン大学
	世宗大学			ウェスタンシドニー大学	ディーキン大学
マレーシア	サンウェイ大学			サザンクロス大学	グリフィス大学
アメリカ	アリゾナ州立大学	サンディエゴ州立大学	ニュージーランド	RMIT 大学	
	ニューヨーク州立大学オルバニー校			リンカーン大学	ワイカト大学
	テネシー大学	ウエストフロリダ大学		クライストチャーチ工科大学	
	ノーステキサス大学	ユタ大学			
	アラバマ大学				

○ 文化理解講座

目 的： 海外協定先大学において実施される語学のみならず、歴史や特有の伝統的な文化体験、現地学生とさまざまな活動を通して、短期間で生きた文化を体感することで、異文化理解を深める。

期 間： 1 週間から 2 週間（春休み、夏休み）

派 遣 先： 大真大学（韓国）、釜山外国語大学（韓国）、嶺南大学（韓国）、北方工業大学（中国）、サンウェイ大学（マレーシア）

【資料11】

別記様式第3号（その3の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況
 （英語国際学部アジア共創学科）

職 位	学 位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計	備 考
教 授	博 士				2 人	1 人			3 人	
	修 士				1 人			2 人	3 人	
	学 士									
	短期大 学 士									
	その他									
准教授	博 士		3 人	1 人	1 人		1 人		6 人	
	修 士					1 人			1 人	
	学 士									
	短期大 学 士									
	その他									
講 師	博 士				1 人	1 人			2 人	
	修 士			1 人					1 人	
	学 士									
	短期大 学 士									
	その他									
助 教	博 士		1 人						1 人	
	修 士									
	学 士									
	短期大 学 士									
	その他									
合 計	博 士		4 人	1 人	4 人	2 人	1 人		12 人	
	修 士			1 人	1 人	1 人		2 人	5 人	
	学 士									
	短期大 学 士									
	その他									

【資料11】

(英語国際学部アジア共創学科)

調書 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	採用根拠等
1	基 (主専)	教授 (学科長)	ヨシザキ マコト 吉崎 誠 ＜令和7年4月＞	70 (高)	学校法人関西外国語大学再採用教員内規 理事会（R5.12.16開催）にて承認
5	基 (主専)	教授	キン エイエイ 靳 衛衛 ＜令和7年4月＞	71 (高)	学校法人関西外国語大学再採用教員内規 理事会（R4.12.17開催）にて承認

【資料 12】

学校法人関西外国語大学 職員就業規則（抜粋）

昭和 45 年 4 月 1 日施行
2023 年度改定第 6 号

第 1 章 総 則

（職員の定義等）

第 2 条 この規則において職員とは、所定労働時間勤務する教育職員、事務職員または労務職員として、定められた手続により採用された者をいう。

第 3 章 人 事

第 4 節 退職・解雇

（定 年）

第 23 条 職員の定年は次のとおりとし、定年退職日に当然に雇用契約が終了するものとする。

(1) 教育職員 満 65 歳

満年齢に達した日の属する年度の末日を定年退職日とする。

【資料 13】

学校法人関西外国語大学 再採用教員内規（抜粋）

昭和 53 年 4 月 1 日施行
平成 29 年度改定第 8 号

（趣 旨）

第 1 条 本学で定年年齢に達した教育職員を新たに再採用教員として任用する場合は、この内規の定めるところによる。

（任 用）

第 2 条 再採用教員の任用は、下記に該当する者のうちより、理事会の審議を経て理事長が決定する。

- (1) 大学院指導教授
- (2) 定年時に教員役職に在る者
- (3) 理事長が本学の業務運営上必要と認めた者

（任用期間）

第 3 条 再採用教員の任用期間は 1 年とする。

- (1) 理事長が本学の業務運営上特に必要があると認めたときは、本項の任用期間を更新することができる。
- (2) 更新は個人別に 1 年ごとに可否を検討し、更新する場合は文書でこれを通知する。

【資料 14】

本学科関連所蔵図書資料

(2023 年 3 月 31 日現在)

本学科関連の分類別蔵書数

(単位:冊)

図 書	和書	洋書	合計	分類別比
総 記	18,002	29,628	47,630	10.2%
哲 学	17,653	7,765	25,418	5.4%
歴 史	33,091	13,884	46,975	10.1%
社会科学	77,421	25,613	103,034	22.1%
自然科学	14,012	1,970	15,982	3.4%
工 学	6,882	1,905	8,787	1.9%
産 業	6,260	1,703	7,963	1.7%
芸 術	14,141	5,129	19,270	4.1%
語 学	40,957	39,592	80,549	17.2%
文 学	47,888	53,653	101,541	21.7%
製本雑誌	3,898	5,946	9,844	2.1%
(小 計)	280,205	186,788	466,993	100.0%
教員長期貸出資料	54,332	65,604	119,936	
合 計	334,537	252,392	586,929	
構成比	57.0%	43.0%	100.0%	

(単位:タイトル)

電子図書	和書	洋書	合計	分類別比
総 記	7	0	7	1.6%
哲 学	6	1	7	1.6%
歴 史	117	0	117	26.2%

社会科学	68	0	68	15.2%
自然科学	0	0	0	0.0%
工 学	1	0	1	0.2%
産 業	9	0	9	2.0%
芸 術	3	0	3	0.7%
語 学	36	191	227	50.8%
文 学	8	0	8	1.8%
製本雑誌	0	0	0	0.0%
(小 計)	255	192	447	100.0%
教員長期貸出資料				
合 計	255	192	447	
構成比	57.0%	43.0%	100.0%	

本学科関連の蔵書数

1) 専門教育科目関連	132,612 冊
Introduction to Global Studies	6,140
Introduction to Global Communication	326
Global Issues	46,363
中国語	2,640
韓国語	443
タイ語	56
ベトナム語	41
日本語関連	5,619
ジャパノロジー	12,801
日本の文学	13,196
日本の文化	3,498
アジアの文化	2,124
日本のホスピタリティ	453
人間の安全保障	963
アジアの紛争と平和構築	383
経済学	10,373
マーケティング	633
キャリアデザイン	599
現代社会とイノベーション	112
アジア共創基礎演習	2,091
海外事情研究	198
アジア共創キャップ・ストーン	177

Strategic Presentation	8,547	
ことばとコミュニケーション	6,178	
エリアスタディーズ	3,615	
教職概論	103	
教育制度概論	149	
教育方法の理論と実践	1,876	
教育相談	2,684	
日本語教育演習	231	
2) 全学共通教育科目	28,395	冊
哲学	3,299	
憲法	642	
民法	524	
労働関係法	296	
政治学	10,488	
数学	834	
心理学	2,719	
科学とくらし	236	
文学	3,453	
スペイン語	1,304	
フランス語	1,321	
ドイツ語	1,964	
イタリア語	256	
ロシア語	255	
ハンガリー語	39	
フィンランド語	26	
アラビア語	105	
ラテン語	94	
就業体験実習	181	
ボランティア実習	8	
特別支援教育概論	351	
合計	161,007	冊

本学科関連の所蔵雑誌タイトル

中宮 洋雑誌

◆言語学

- 1 American journal of philology
- 2 American Philological Association newsletter
- 3 American speech
- 4 Analysis
- 5 Applied linguistics
- 6 Brain and language
- 7 CLS
- 8 Cognitive linguistics
- 9 Diachronica
- 10 Discourse processes
- 11 ELT journal
- 12 English journal
- 13 English linguistics
- 14 English studies
- 15 English teaching forum
- 16 English today
- 17 Essential teacher
- 18 Folia linguistica historica
- 19 General linguistics
- 20 Hispania
- 21 Hispanic review
- 22 Interdisciplinary journal for Germanic linguistics and semiotic analysis
- 23 International journal of American linguistics
- 24 International journal of lexicography
- 25 International review of applied linguistics in language teaching
- 26 JALT journal
- 27 Japan journal of multilingualism and multiculturalism
- 28 Journal of applied linguistics
- 29 Journal of East Asian linguistics
- 30 Journal of Japanese linguistics
- 31 Journal of linguistics
- 32 Journal of memory and language
- 33 Journal of phonetics
- 34 Journal of pragmatics
- 35 Journal of semantics
- 36 Language : journal of the Linguistic Society of America
- 37 Language and literature
- 38 Language and speech
- 39 Language arts
- 40 Language in society
- 41 Language learning
- 42 Language resources and evaluation
- 43 Language teaching
- 44 Lexicographica
- 45 Lingua
- 46 Linguistic analysis
- 47 Linguistic inquiry
- 48 Linguistica Uralica
- 49 Linguistics
- 50 Linguistics abstracts
- 51 Linguistics and philosophy
- 52 Literary & linguistic computing
- 53 MLN : modern language notes
- 54 Modern philology
- 55 Namn och bygd
- 56 Natural language & linguistic theory

- 57 Natural language semantics
- 58 Neuphilologische Mitteilungen
- 59 Nordic journal of linguistics
- 60 Philological quarterly
- 61 Phonetica
- 62 Phonology
- 63 Proceedings of the West Coast Conference on Formal Linguistics
- 64 Quarterly journal of speech
- 65 Research on language and social interaction
- 66 Review of English studies. New series
- 67 Romance philology
- 68 Studia neophilologica
- 69 Studies in philology
- 70 Studies in second language acquisition
- 71 TESOL quarterly
- 72 The language teacher
- 73 The Linguistic review
- 74 The Modern language journal
- 75 Transactions of the Philological Society
- 76 Tsukuba English studies
- 77 Word
- 78 Zeitschrift für romanische Philologie

◆社会科学

- 1 American journal of international law
- 2 American sociological review
- 3 Arbor
- 4 Contemporary sociology
- 5 Foreign affairs
- 6 Foreign policy
- 7 Human relations
- 8 International affairs
- 9 International organization
- 10 International relations of the Asia-Pacific
- 11 International security
- 12 Journal of social issues
- 13 New internationalist
- 14 Rural sociology
- 15 Social forces
- 16 Social issues and policy review
- 17 Social science history
- 18 Social science Japan journal
- 19 The American journal of sociology
- 20 The British journal of sociology
- 21 World politics

◆民族学

- 1 Acta ethnographica Hungarica
- 2 American anthropologist
- 3 American ethnologist
- 4 Anthropological science
- 5 Anthropology today
- 6 Current anthropology
- 7 Ethnic and racial studies
- 8 Journal of anthropological research
- 9 Man in India
- 10 Paideuma

- 11 The Eastern anthropologist
- 12 The journal of the Royal Anthropological Institute

◆歴史

- 1 East Asia
- 2 Eighteenth century
- 3 Eighteenth-century studies
- 4 Eurasian studies yearbook
- 5 Japan echo
- 6 Journal of Southeast Asian studies
- 7 Journal of the K.R. Cama Oriental Institute
- 8 Mediaeval studies
- 9 Speculum : a journal of mediaeval studies
- 10 The American historical review
- 11 The English historical review
- 12 The Hispanic American historical review

◆古典研究

- 1 The classical quarterly. New series
- 2 The Classical review. New series
- 3 Transactions of the American Philological Association

◆地域研究

- 1 Acta Asiatica
- 2 American studies
- 3 Américas
- 4 Asian ethnology
- 5 Asian survey
- 6 Critical Asian studies
- 7 Harvard journal of Asiatic studies
- 8 Japan close-up
- 9 Journal of American folklore
- 10 Journal of the American Oriental Society
- 11 Journal of the Oriental Institute
- 12 Kateigaho (international ed.)
- 13 Kyoto journal
- 14 Latino america
- 15 Monumenta Nipponica
- 16 Positions
- 17 Review of Japanese culture and society
- 18 Suomalais- Ugrilaisen Seuran toimituksia
- 19 The Atlantic
- 20 The Journal of Asian studies
- 21 The Journal of Indo-European studies
- 22 The journal of Japanese studies
- 23 The transactions of the Asiatic Society of Japan. Ser. 4
- 24 U.S.-Japan women's journal. English supplement
- 25 にっぽん (英語版)

◆文学

- 1 American literature
- 2 Asian theatre journal
- 3 Brontë studies
- 4 Bulletin of Spanish studies
- 5 Cervantes
- 6 Chaucer review
- 7 Comparative drama
- 8 Comparative literature

- 9 ELH : a journal of english literary history
- 10 Essays in criticism
- 11 Granta
- 12 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 13 Latin American literary review
- 14 Medium ævum
- 15 Modern fiction studies
- 16 Neophilologus
- 17 Nineteenth-century literature
- 18 Notes and queries. New series
- 19 PMLA : publications of the Modern Language Association of America
- 20 Poetics
- 21 Shakespeare quarterly
- 22 Studies in English literature
- 23 Studies in English literature 1500-1900
- 24 T · L · S, the Times literary supplement
- 25 The drama review : TDR
- 26 Theatre notebook
- 27 Theatre survey
- 28 Twentieth century literature
- 29 World literature today

◆人文科学

- 1 American quarterly
- 2 Journal of the history of ideas

◆哲学/心理学

- 1 Analysis. New series
- 2 Japanese journal of religious studies
- 3 Japanese religions
- 4 Journal of applied psychology
- 5 Journal of religion in Africa
- 6 Journal of social psychology
- 7 Philosophy east and west
- 8 The eastern buddhist. New series
- 9 The Journal of philosophy
- 10 The journal of psychology

◆経済

- 1 Business week
- 2 California management review
- 3 Economic development and cultural change
- 4 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 5 Fortune(Asia ed.)
- 6 Harvard business review
- 7 Japan company handbook
- 8 Journal of economic literature
- 9 Journal of world business
- 10 MIT Sloan management review
- 11 The American economic review
- 12 The economic journal
- 13 The economist
- 14 The Journal of economic perspectives
- 15 Econometrica
- 16 Japanese Economic Review
- 17 Journal of Finance
- 18 Journal of Money, Credit and Banking
- 19 Journal of Political Economy

- 20 Quarterly Journal of Economics
- 21 Review of Economic Studies
- 22 Review of Economics and Statistics
- 23 Strategic finance
- 24 Journal of management accounting research
- 25 Journal of international financial management & accounting

◆自然科学

- 1 Journal of field archaeology
- 2 National geographic

◆教育

- 1 College English
- 2 Communication education
- 3 Computers & education
- 4 Cross currents
- 5 Educational perspectives
- 6 Educational technology
- 7 Harvard educational review
- 8 Journal of educational technology systems
- 9 NEA today
- 10 Profession
- 11 Theory into practice

◆総合誌

- 1 New York
- 2 Newsweek
- 3 The spectator
- 4 Time
- 5 U.S. news & world report

御殿山 洋雑誌

◆言語学

- 1 American speech
- 2 Annual review of applied linguistics
- 3 Applied linguistics
- 4 Applied psycholinguistics
- 5 Deutsch als Fremdsprache
- 6 Deutsche Sprache
- 7 English : the magazine of the English Association
- 8 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 9 English today
- 10 Fremdsprache Deutsch
- 11 Germanistik
- 12 International journal of corpus linguistics
- 13 International journal of the sociology of language
- 14 Interpreting
- 15 Journal of second language writing
- 16 Language learning
- 17 Language testing
- 18 The Modern language journal
- 19 Modern language quarterly
- 20 Newsletter
- 21 Revue des langues romanes
- 22 Second language research
- 23 Sprache im technischen Zeitalter
- 24 Sprachtypologie und Universalienforschung : STUF
- 25 Studies in second language acquisition
- 26 TESOL quarterly
- 27 Vital speeches of the day
- 28 Zeitschrift für germanistische Linguistik

◆社会科学

- 1 Foreign affairs
- 2 International relations of the Asia-Pacific
- 3 Millennium
- 4 New Internationalist
- 5 Nikkei Asian review
- 6 Review of international studies
- 7 JICA magazine
- 8 Japan review

◆民族学

- 1 Abstracts in anthropology
- 2 Annual Review of Anthropology

◆地域研究

- 1 AJ : Canada's Environmental voice
- 2 Ebisu
- 3 German life & letters. New series : a quarterly review
- 4 JAPAN magazin
- 5 にっぽん : discovering Japan

◆文学

- 1 Contemporary literature
- 2 Deutsche Vierteljahrsschrift für Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte
- 3 ELH : a journal of english literary history

- 4 Euphorion : Zeitschrift für Literaturgeschichte
- 5 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 6 Journal of literary semantics
- 7 Literatur und Kritik
- 8 Magazine littéraire
- 9 New literary history : a journal of theory and interpretation

◆人文科学

- 1 American quarterly
- 2 Digital scholarship in the humanities : DSH
- 3 Film quarterly
- 4 Merkur : deutsche Zeitschrift für europäisches Denken
- 5 Theater heute

◆哲学/心理学

- 1 The British journal of educational psychology
- 2 Cognitive psychology
- 3 Humor : international journal of humor research
- 4 Multivariate behavioral research
- 5 Psychological bulletin

◆経済

- 1 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly

◆自然科学

- 1 National geographic

◆教育

- 1 The German quarterly
- 2 NEA Today

◆総合誌

- 1 Elle à table
- 2 Harper's
- 3 L'Obs : nouvelle formule
- 4 Muze
- 5 Newsweek (International, Pacific ed.)
- 6 News-week (U.S.edition)
- 7 Phosphore
- 8 Reader's digest
- 9 Time : the weekly newsmagazine
- 10 Time : the weekly newsmagazine Asia ed
- 11 The United States news, world report
- 12 The Week

中宮 和雑誌

◆教育

- 1 異文化間教育
- 2 教育委員会月報
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 月刊高校教育
- 6 社会科教育
- 7 週刊教育資料
- 8 切抜き速報. 教育版.
- 9 教育音楽. 小学校版
- 10 受験ジャーナル

◆経済

- 1 応用経済学研究
- 2 アジア経済
- 3 金融経済研究
- 4 証券アナリストジャーナル
- 5 地域経済総覧
- 6 日本 EU 学会年報
- 7 一橋ビジネスレビュー
- 8 フィナンシャル・レビュー
- 9 フォーリン・アフェアーズ・リポート
- 10 貿易と関税
- 11 企業会計
- 12 金融研究
- 13 経済セミナー
- 14 月刊金融ジャーナル
- 15 週刊東洋経済
- 16 日経ビジネス
- 17 ハーバードビジネスレビュー

◆語学

- 1 Aera English
- 2 言語研究
- 3 日本語文法

- 4 ふらんす
- 5 英語教育
- 6 英語語法文法研究
- 7 語用論研究
- 8 社会言語科学
- 9 新英語教育
- 10 多聴多読マガジン
- 11 通訳・翻訳ジャーナル
- 12 日本語の研究
- 13 日本語学
- 14 日本語教育
- 15 日本認知言語学会論文集[CD-ROM 版]
- 16 認知言語学研究
- 17 認知言語学論考
- 18 中国語学

◆産業

- 1 ていくおふ
- 2 放送研究と調査
- 3 月刊エーステージ
- 4 月刊エアライン
- 5 情報の科学と技術

◆自然科学

- 1 ナショナルジオグラフィック
- 2 Newton
- 3 科学
- 4 日経サイエンス

◆社会科学

- 1 国際人権
- 2 国際政治
- 3 国際法外交雑誌
- 4 ジュリスト
- 5 スペイン史研究
- 6 法律時報

- 7 ボランティア学研究
- 8 外交
- 9 国際安全保障
- 10 世界法年報
- 11 判例タイムズ
- 12 判例時報
- 13 文化人類学
- 14 法学教室
- 15 労働判例
- 16 會計

◆人文科学

- 1 こころの科学
- 2 統合失調症のひろば
- 3 季刊考古学
- 4 月刊考古学ジャーナル
- 5 現代思想
- 6 古代學研究
- 7 思想
- 8 地理
- 9 部落解放
- 10 理想
- 11 図書館雑誌
- 12 学校図書館
- 13 図書館の学校

◆地域科学

- 1 アメリカ研究
- 2 イベロアメリカ研究
- 3 オーラ！アミーゴス
- 4 ラテン・アメリカ時報
- 5 国際開発ジャーナル

◆文学

- 1 英文學研究
- 2 ユリイカ

- 3 新潮
- 4 日本文学
- 5 文体論研究
- 6 藝術新潮

◆総合誌

- 1 News がわかる
- 2 Newsweek 日本版
- 3 Hir@gana times
- 4 ヒューマンライツ
- 5 新聞ダイジェスト
- 6 世界
- 7 中央公論
- 8 悲劇喜劇
- 9 美術手帖
- 10 文藝春秋

御殿山 和雑誌

◆教育

- 1 開発教育
- 2 教育
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 文部科学 教育通信

◆経済

- 1 (週刊) エコノミスト
- 2 経済セミナー
- 3 JCC monthly
- 4 週刊東洋経済

◆語学

- 1 中国語文法研究
- 2 第二言語としての日本語の習得研究
- 3 英語教育
- 4 現代中国語研究
- 5 日本語学
- 6 新英語教育
- 7 通訳・翻訳ジャーナル

◆産業

- 1 (月刊) エアライン
- 2 (月刊) エアステージ

◆自然科学

- 1 Newton

◆社会科学

- 1 アステイオン
- 2 (月刊) 福祉
- 3 国際貿易
- 4 国際問題

◆人文科学

- 1 現代の図書館
- 2 であい ; 全同教機関誌月刊「同和教育」

- 3 異文化コミュニケーション

- 4 LRGライブラリ・リソース・ガイド

- 5 日本の参考図書 ; 四季版

- 6 図書館雑誌

◆地域研究

- 1 中国文化
- 2 東アジア近代史
- 3 人民中国 (日本語版)
- 4 今日中国
- 5 東方学
- 6 東洋学研究
- 7 観光文化

◆文学

- 1 中国現代文学

◆総合誌

- 1 美術フォーラム21
- 2 中央公論
- 3 Newsweek(日本語版)
- 4 世界

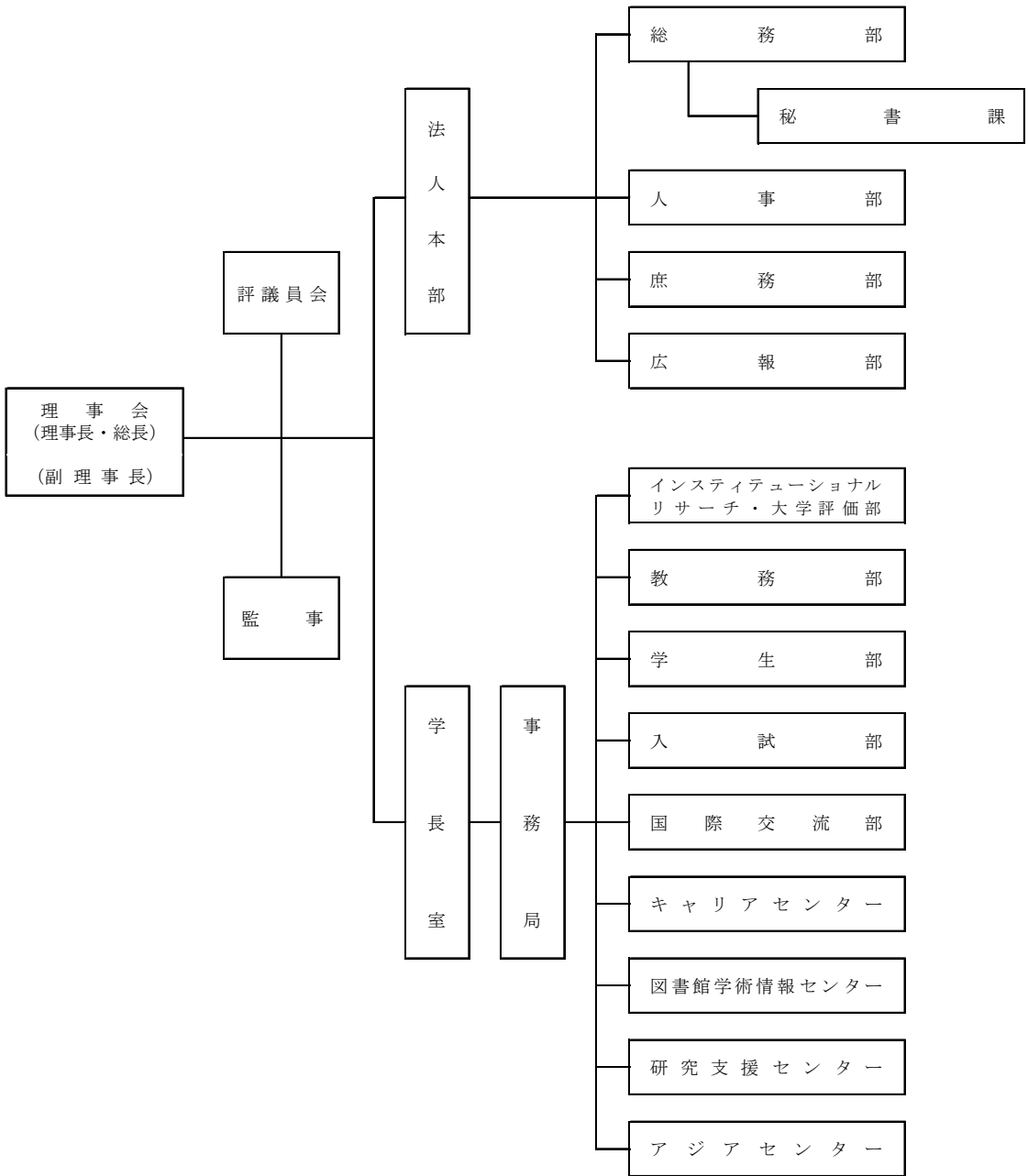
【資料 15】

管理運営機構図

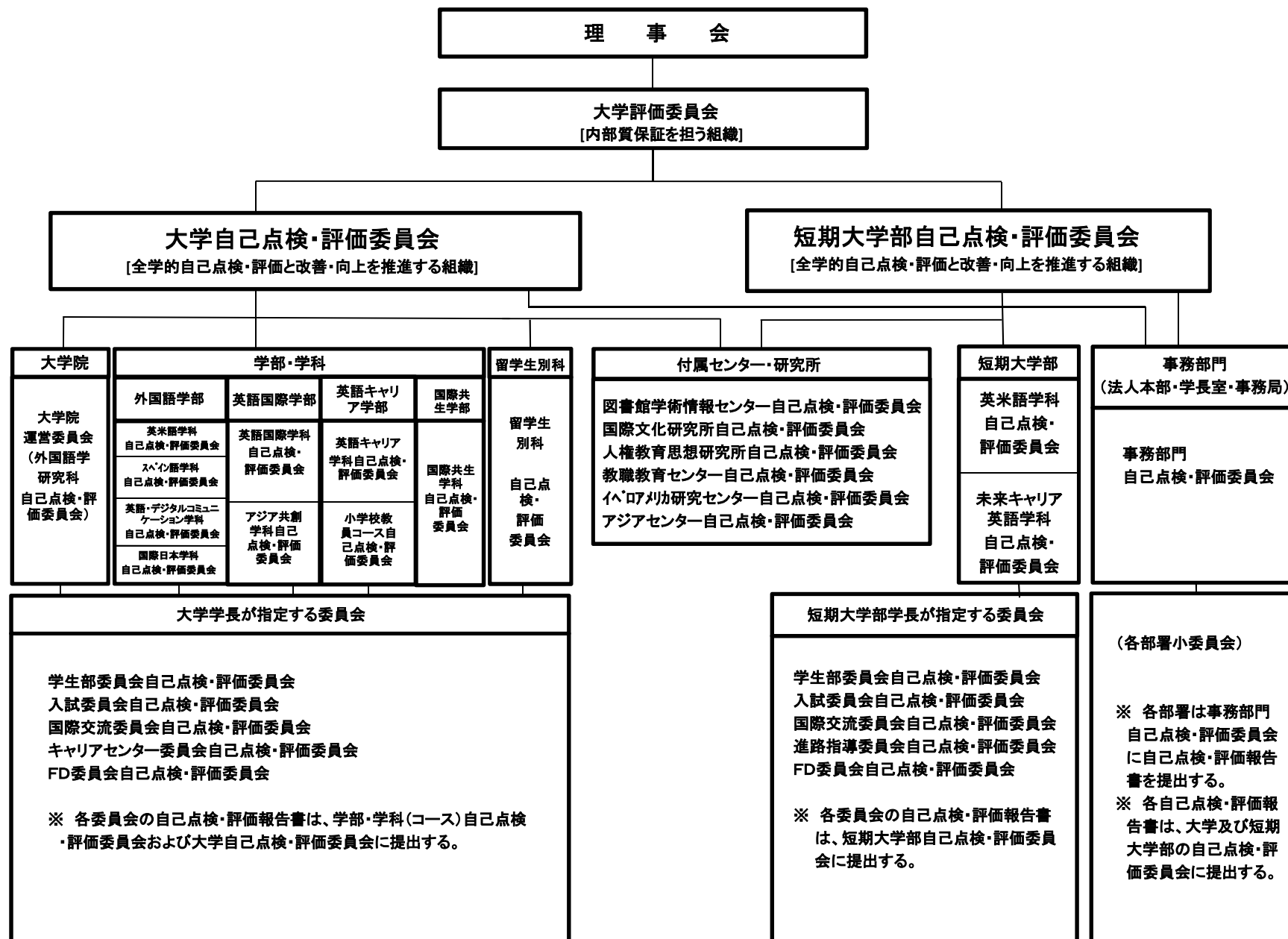


(注)① 教員役職者会は、各学部間の教学に関する連絡調整機関。
学長、学部長、学科長、大学院研究科長、教務部長、学生部長、図書館学術情報センター長、キャリアセンター長、
国際文化研究所長、教職教育センター長、FD 委員長、アジアセンター長等の教員役職者で構成。

【資料16】 法人・大学事務組織機構図



学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図



【資料 18】

関西外国語大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程

〔平成 20 年 4 月 1 日施行〕
〔平成 29 年度改定第 41 号〕

(趣旨)

第 1 条 この規程は、関西外国語大学学則第 5 条第 2 項の規定にもとづき、ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (以下「委員会」という) の運営に関し必要な事項を定める。

(所管事項)

第 2 条 委員会は次の各号に掲げる事項を所管する。

- (1) 教育内容および方法の改善のための方策に関する事項
- (2) 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項
- (4) 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項
- (5) 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項
- (6) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動報告書等の作成に関する事項
- (7) 前各号のほか、教育内容および方法の改善に関する事項および学長が諮問する事項

(組織)

第 3 条 委員会は次の各号の委員をもって組織する。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長
 - (2) 教務部長
 - (3) 教育職員
 - (4) そのほか、学長が指名する職員
- 2 委員は学長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。
 - 4 委員に欠員が生じた場合の補充の委員の任期は、前項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。

(委員会の招集)

第 4 条 委員会は学長が招集する。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長はファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長とし、議長となる。

(議事)

第 6 条 委員会は委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員長は審議または実施の結果を学長に報告する。

(事務)

第 7 条 委員会の事務は、教務部が行う。

(雑則)

第 8 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は学長が指示する。

2 委員会は短期大学部ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会と協働することができる。

3 委員会は必要に応じて大学院委員会と協働することができる。

(改廃)

第 9 条 この規程の改廃は理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。(平成 20 年 2 月 23 日制定)

平成 23 年 4 月 1 日施行 (平成 23 年 2 月 19 日改定)

平成 27 年 4 月 1 日施行 (平成 27 年 3 月 14 日改定)

附 則

この規程の改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。(平成 30 年 3 月 30 日改定)

【資料 19】

**学校法人 関西外国語大学
スタッフ・ディベロップメント(SD) 委員会規程**

〔平成 23 年 4 月 1 日施行〕
〔2021 年度改定第 38 号〕

(目的)

第 1 条 この規程は、教育職員および事務職員（以下「職員」という）等を対象として、学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメントの実施に関する方針（以下「実施方針」という）に掲げる目的等を実現するために設置するスタッフ・ディベロップメント(SD)委員会（以下「委員会」という）に関し、必要事項を定める。

(任務)

第 2 条 委員会はSD活動が継続して行われるために、次の事項について審議するとともに推進のための具体的方策を決定する。

- (1) 実施方針に掲げる研修等に関する事項
- (2) 学生の学習支援のための基本方針と実施体制に関する事項
- (3) 部門単位での業務改善目標の設定と結果の分析に関する事項
- (4) 審議および決定した内容について学内で告知徹底するための具体的方策に関する事項
- (5) その他、委員会が必要と認めた事項

(構成)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 事務局長
- (2) 総務部長
- (3) 理事長が委嘱する職員

(委員長および副委員長)

第 4 条 委員長は、事務局長とする。

- 2 委員長に事故あるときは、その職務を代行する副委員長を置くことができる。
- 3 副委員長は、委員長が指名する。

(会議)

第 5 条 委員会は、必要に応じて委員長が随時招集する。ただし、委員 2 名以上の要請があった場合、委員長はこれを招集しなければならない。

- 2 議長は、委員長があたる。委員長に事故あるときは、委員長が指名する者が議長を代行する。
- 3 委員会は、教職協働を推進するために関西外国語大学および関西外国語大学短期大学部FD委員会と合同で開催することができる。
- 4 委員会は、必要に応じてオブザーバーとして委員以外の職員の出席を求め、その意

見を聴くことができる。

(任期)

第 6 条 第 3 条第 1 項第 3 号に定める委員の任期は 2 年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

(事務取扱)

第 7 条 委員会の事務は、委員の中から委員長が指名する者をもってあてる。

(規程の改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 2 月 19 日制定)

平成 25 年 4 月 1 日施行 (平成 25 年 3 月 9 日改定)

平成 30 年 4 月 1 日施行 (平成 30 年 3 月 30 日改定)

附 則

この規程の改正は、2022 年 4 月 1 日から施行する。(2022 年 3 月 26 日改定)